

「教務課関係 諸願書・届書式」

教務部教務課

目次

(一) 教会事情願書書式・・・・・・・・・・・・・ 3

事情願書取扱いの注意・・・・・・・・・・・・・ 3

一 設立願・・・・・・・・・・・・・ 5

二 御目標奉祀願・・・・・・・・・・・・・ 13

三 御目標再奉祀願・・・・・・・・・・・・・ 16

四 任命願・・・・・・・・・・・・・ 18

五 代務者任命願・・・・・・・・・・・・・ 25

六 移転願・・・・・・・・・・・・・ 28

七 移転建築願・・・・・・・・・・・・・ 33

八 遷座祭日願・・・・・・・・・・・・・ 38

九 移転模様替願・・・・・・・・・・・・・ 40

十 移転建築模様替願・・・・・・・・・・・・・ 46

十一 建築願・・・・・・・・・・・・・ 52

十二 建築模様替願・・・・・・・・・・・・・ 58

十三 お社取替願・・・・・・・・・・・・・ 63

(二) 教会に関する届書式・・・・・・・・・・・・・ 92

注意事項・・・・・・・・・・・・・ 92

一 代務者解任届・・・・・・・・・・・・・ 94

二 建築届・・・・・・・・・・・・・ 95

三 霊祭日届・・・・・・・・・・・・・ 96

十四 改称願・・・・・・・・・・・・・ 67

十五 恒例祭日変更願・・・・・・・・・・・・・ 69

十六 恒例祭日臨時変更願・・・・・・・・・・・・・ 71

十七 臨時祭典日変更願・・・・・・・・・・・・・ 74

十八 臨時祭典願(創立記念祭)・・・・・・・・・・・・・ 76

十九 教会所属変更願・・・・・・・・・・・・・ 77

二十 建築関係願書要項―表題例―・・・・・・・・・・・・・ 79

二十一 請書例・・・・・・・・・・・・・ 82

二十二 土地及び建物使用承諾書例・・・・・・・・・・・・・ 86

二十三 寄付証書例・・・・・・・・・・・・・ 88

二十四 返還誓約書例・・・・・・・・・・・・・ 89

(三)	教人に関する諸願書・届書式・・・・・・・・・・	103
	注意事項・・・・・・・・・・	103
	一 教人登録願・・・・・・・・・・	105
	二 教人所属変更願・届・・・・・・・・・・	106
	三 教人の変更・出直・訂正届(表紙)・・・・・・・・	107
	四 教人の変更・出直・訂正届・・・・・・・・	108
	五 教人出直届(任命願書添付用)・・・・・・・・	109
	六 教人登録証明書下附願・・・・・・・・	110
(四)	布教所届書式・・・・・・・・・・	111
	注意事項・・・・・・・・・・	111
	一 布教所開設届・・・・・・・・・・	112
	四 霊祭日変更届・・・・・・・・・・	97
	五 霊祭日臨時変更届・・・・・・・・・・	98
	六 教会所属変更届・・・・・・・・・・	99
	七 教会「地名変更」並「住居表示」届・・・・・・・・	101

(五)	別席取扱いについて・・・・・・・・・・	115
	二 布教所変更届・・・・・・・・・・	113
	〈資料 修了資格一覧表〉・・・・・・・・・・	114
(六)	おまもり、をびや許し、御供下附 について・・・・・・・・	118
(七)	礼遇報告書・・・・・・・・・・	119
(八)	災害対策関係・・・・・・・・・・	122

(一) 教会事情願書書式

◎事情願書取扱いの注意

(1)作成にあたって

- イ、本部提出願書は、所定の天理教赤罫紙（十行罫紙）を使用し、楷書で毛筆墨書すること。
- ロ、筆ペンは使用しないこと。
- ハ、願書は直属教会長が必ず自署押印し、教区経由の上、具申書を添えて願い出ること。

(2)教会名称について

教会の名称は設立願（改称した場合は改称願）の字体を以て正確に記入し、必ずふりがなをつけること。

(3)所在地について

- イ、願書に記載する所在地は、本部の教会台帳と一致すること。
（法人教会として登記された事務所の所在地であること。
地名変更・住居表示実施の場合は速やかに教務課へ届け出ること）
- ロ、大阪市及び京都市以外は都道府県名をいれること。
- ハ、教会の所在地は「壱丁目貳百参拾四番地の五拾六」のように漢数字を用いて書くこと。

二、おちばを中心として二里四方以内での教会設立及び移転

（移転建築）は許されない。

（事前に教務課へ問い合わせのこと）

(4)土地・建物について

- イ、土地の地積は登記簿通りメートル法で記入すること。
- ロ、建物の構造・床面積は本部教会台帳通りメートル法で記入すること。
（台帳と登記簿が相違している場合は、登記簿の構造・床面積を併記し、理由書を添付すること）
- ハ、土地・建物登記簿謄本又は登記事項証明書は、交付日から三ヶ月以内のものであること。

二、各図面には北方位を示し（黒線）、配置図・付近見取図及び神殿平面図にはおちば方向を明示（朱線）すること。

ホ、神床の周辺（階下含む）には便所及び火を取り扱う場所（浴室・炊事場・駐車場等）を配置しないこと。

ヘ、上段は幅二間（約三・六メートル）、奥行二間（約三・六メートル）以上にし、両脇に鳴物の場所を設けること。

(5)使用する語句・文字について

- イ、「教祖」には様は付けない。
- ロ、祖霊様は御目標様とは呼ばない。
- ハ、「つとめ人衆」は本部に限る。一般教会は「おつとめ奉仕者」という。

二、直属教会長（上級教会長）の「お言葉」「お声」「お許し」はさける。「指示を得て」や「賛意を得て」等にする事。

(6)臨時祭典について

イ、奉告祭は恒例祭日及び霊祭日以外の日にとめる事。

ロ、鎮座祭・遷座祭は恒例祭日と同日であつてもよい。但し恒例祭がおろそかにならないよう注意する事。

ハ、本部の恒例祭に帰参することのできる日取りで願ひ出ること。

(7)願書の日付について

願書の自署押印にかかる「年月日」は立教の年月日を用い

「立教百八十五年四月十八日」のように記入する。（教区提出前の日である事）

(8)押印について

イ、任命願の実印と職印の区別に注意の事。

（辞職願及び財産引継始末書の前任者押印は実印を用いる事）

ロ、海外教会については事前に教務課に相談の事。

ハ、願書に訂正が生じた場合は貼紙訂正をし、その上部欄外に訂正印を押印すること。（修正液・修正テープは不可）

二、訂正印は願ひ出人が願書に押印している印を用いる事。

(9)職印について

教会長の職印の大きさは大教会が二・五センチ角、分教会が一・五センチ角とする。

(10)系統位置表について

イ、事情願書には、願ひ出教会の系統を示す表を添付すること。（設立願書及び直属教会の諸願書は除く）

ロ、用紙は教務課備え付けの所定の用紙を使用し、毛筆墨書すること。

ハ、改称の場合は改称名で記入し、旧名称を左横に（ ）で記入すること。

二、教会所属変更届を同時に提出する場合は、変更後の系統を記し、旧系統を左横に（ ）で記入すること。

(11)願書の提出日について

イ、事情願書の締切は毎月十五日。

但し設立・任命・代務者任命の願書の締切は十三日とする。（教区の締切日にも注意の事）

(12)任命講習会について

任命講習会は必ずおはこびと同月に受講の事。

※願人は同講習会に帰参の際、実印及び職印を必ず持参すること。

一、設立願

- ・ 設立に当たってはおちばを向いて礼拝できるよう神床の位置を充分考慮すること。
 - ・ 上段は幅二間（三・六[㍺]）、奥行き二間（三・六[㍺]）以上にし、両脇に鳴物の場所を設けること。
 - ・ 土地建物が抵当に入っている場合は設立は認められない。
 - ・ 個人名義の土地・建物を借用する場合は設立は認められない。
 - ・ 出願に当り各願書に教区の經由印を得ると共に、視察巡教を受けた修理人の印を本願の經由印の上部に押印して貰う。
 - ・ 住居表示が実施されている所は、証明する公文書を添付して、その住所で願い出ること。
 - ・ 名称には原則として**教語・国名・大都市名等**を用いない。
 - ・ 既設教会と**同音、同字**の名称は認められない。
 - ・ 仮名のみは名称は避けること。但し**仮名**の名称については海外教会はその限りでない。
- （事前に教務課へ問い合わせて間違いのないよう注意すること）

〔本願〕

- ・ 役員はそれぞれ住所を記入し、署名押印のこと。
- ・ 設立願のみ「**教会長予定者**」とし、以後の願はすべて「**教会長**」として記入のこと。

- ・ 印鑑はすべて実印を用いる。

〔鎮座祭日並奉告祭日御許願〕

- ・ 鎮座祭、奉告祭の日取りは、お許しを戴いた翌月二十四日まで
の日で願い出ること。

- ・ 鎮座祭の翌日に奉告祭を執り行うこと。

〔恒例祭日御許願〕

- ・ 春季大祭は一月、秋季大祭は十月で願い出ること。
- ・ 四月の月次祭を別の日につとめる場合は

「 月次祭 毎月〇日

（一月十月を除く）

（四月に限り〇日）

と付記して願うこと。

- ・ 本部及び上級教会の恒例祭の関連に注意すること。

〔項目書〕

- ・ 霊祭日を届け出ること。
- ・ 但し、当該教会長は実印を押すこと。
- ・ 別紙で由緒沿革を詳記する。
- ・ 末尾に立教年月日及び教会長自署押印すること。
- ・ よふぼく数は十六名以上（内、教人五名以上）
- ・ 別紙で教会長資格登録者・教人・よふぼく名簿を添付する。
- ・ 同時に「**教人所属変更届**」及び「**よふぼく所属変更報告**」を提

出すること。

- ・境内地の地目及び地積は一筆毎連記すること。
- ・境内建物は一棟毎連記すること。
- ・「六、資産の状況」において請書による物件が無い場合は「神具一式」とする。

〔教会長資格登録者・教人・よふぼく名簿〕

- ・教会長資格登録者名簿
- ・登録年月日、住所、氏名、生年月日を一行にして記入。
- ・教人名簿
- ・登録年月日、住所、氏名、生年月日を一行にして記入。
- ・よふぼく名簿
- ・おさづけの理拝戴年月日、住所、氏名、生年月日を一行にして記入。

- ・願人及び所属教人は事前に教務課の台帳と照合のこと。
- ・教人の登録は設立願と同時出願は認められない。

〔請書〕

- ・土地又は建物の寄付を受けた場合は、寄付証書の写し及び請書。
- ・土地又は建物を購入した場合は売買契約書の写し及び請書。
- ・上級教会の所有物件を借り受ける場合は請書は不要。
- ・「土地及び建物使用承諾書」を添付。

〔添付書類〕

①境内地内建物配置図・平面図及び付近見取図

- ・各図面には北方位を示し（黒線）、配置図・付近見取図及び神殿平面図にはおちば方位を明示（朱線）すること。
- ・建物平面図は原則として縮尺100分の1程度とし、実寸をメートル法で記入して、用途及び畳数を記入すること。
- ・平面図には親神様、教祖、祖霊様、上段、礼拝場、神饌場、事務所、信者室等を用途別に記入すること。
- ・境内建物配置図は縮尺250分の1程度として境内建物の全部を記入すること。

- ・付近見取図は、交通機関も含めた詳細なものとすること。

②「土地建物登記簿謄本又は登記事項証明書」

- ・法務局にて申請、取得できる。
- ・交付日から三ヶ月以内のものであること。
- ・建物が未登記の場合は、建築証明書又は建築確認書等、建物の実在を示す証明書及び建物謄本不添付理由書が必要。

③教会長予定者の「履歴書」

- ・教務課備え付けの所定の履歴書用紙を使用し墨書にて記入すること。
- ・教会長予定者の氏名、本籍地は身分証明書に記載されている通りに記入すること。

- ・現住所は教会所在地を記入すること。
- ・末尾に自署押印（実印）すること。

④教会長予定者の「身分証明書」

- ・本籍地の市町村区役所にて申請、取得できる。
- ・交付日から三ヶ月以内のものであること。
- ・戸籍謄本（抄本）戸籍記載事項証明書などは不可。

⑤教会長予定者の「登記されていないことの証明書」

- ・「登記されていないことの証明書」とは、教会長予定者が成年被後見人、被保佐人、被補助人等の登記をされていないこととの証明書。法務局にて申請、取得できる。
- ・交付日から三ヶ月以内のものであること。

設 立 願	
設立場所	〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号
天理教	〇〇 ふりがな 分教会
右教会を設立したいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
〇〇県〇〇市〇〇町壱番地壱	
役員	〇 〇 〇 〇 印
〇〇県〇〇市〇〇町貳番地貳	
役員	〇 〇 〇 〇 印
天 天 理 教	
天理教	〇〇分教会長 予定者
〇 〇 〇 〇	実印
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山善司 殿	

御目標奉祀願											
設立場所 ○○県○○市○○町○○丁目式番参拾号											
天理教 ふりがな ○○ 分教会											
一、天理王命御目標 御壺体											
一、教祖 御目標 御壺体											
右御奉祀させて頂きたくお願い申し上げます											
立教 年 月 日											
天理教 ○○ 分教会長											
○ ○ ○ ○ 実印											
天理教（直属）教会長											
天理教											
（※直属教会長自筆） 職印											
真柱 中山善司 殿											

鎮座祭日並奉告祭日御許願											
設立場所 ○○県○○市○○町○○丁目式番参拾号											
天理教 ふりがな ○○ 分教会											
一、鎮座祭 立教 年 月 日											
一、奉告祭 立教 年 月 日											
右の日取りで執り行いたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます											
立教 年 月 日											
天理教 ○○ 分教会長											
○ ○ ○ ○ 実印											
天理教（直属）教会長											
天理教											
（※直属教会長自筆） 職印											
真柱 中山善司 殿											

恒例祭日御許願	
設立場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番参拾号
天理教	天理教 〇〇 分教会
春季大祭	一月 日
秋季大祭	十月 日
月次祭	毎月 日
(二月十月を除く)	
右のように定めたので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
天理教	天理教
天理教 〇〇 分教会長	
〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 実印	
天理教(直属)教会長	
(※直属教会長自筆) 職印	
真柱 中山善司 殿	

設立項目書	
一、霊祭	
春秋霊祭を執行する	
二、由緒沿革	
別紙の通り	
三、教会長資格登録者、教人、よふぼく及び信者数	
教会長資格登録者 〇名、教人 〇名、よふぼく 〇〇名、信者 〇〇名	
四、境内地の地目及び地積	
〇〇 〇〇〇、〇〇〇平方メートル	
天理教	天理教
五、境内建物	
〇〇造〇〇葺 平家建 神殿 壺棟	
床面積 〇〇、〇〇平方メートル	
〇〇造〇〇葺 式階建 教職舎 壺棟	
床面積 壺階 〇〇、〇〇平方メートル	
式階 〇〇、〇〇平方メートル	
六、資産の状況	
請書による物件及び神具一式	
七、土地建物の所有者の住所及び氏名	
土地建物共	

〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号	
天理教 〇〇 分教会	
八、設立費予算額	
一、金	万円也
収入の途	
一、金	万円也 ようぼく信者の喜納金
支出の途	
一、金	万円也
内訳	
一、金	万円也 土地建物購入費
天	天理教
一、金	万円也 神殿造作費
一、金	万円也 祭神具購入費
一、金	万円也 奉告祭費
一、金	万円也 出願費
九、一カ年收入予算額	
一、金	万円也
十、系統位置	
〇〇大教会、〇〇分教会、〇〇分教会	

由緒沿革	
天	
天理教	
立教 年 月 日	
天理教 〇〇 分教会長	
〇 〇 〇 〇 〇 実印	

二、御目標奉祀願

- ・本願は御目標様の奉祀をされていない教会の出願書式である。
 - ・同時に「霊祭日届」を提出すること。
- (但し既に届け出ている場合は不要)

〔本願〕

- ・移転と併せて願い出る場合は移転先の所在地、移転・改称と併せて願い出る場合は、移転先の所在地、改称名を以て願い出ること。

〔鎮座祭日並奉告祭日御許願〕

- ・鎮座祭、奉告祭の日取りは、お許しを戴いた翌月二十四日まで
の日で願い出ること。
- ・鎮座祭の翌日に奉告祭を執り行うこと。

〔恒例祭日御許願〕

- ・既にお許し戴いている場合は不要。
- ・四月の月次祭を別の日につとめる場合は

「 月次祭 毎月○日

(一月十月を除く)

(四月に限り○日) 」

と付記して願うこと。

〔理由書〕

- ・御目標様の奉祀をされていない理由を詳記すること。
- ・末尾に立教年月日及び当該教会長並びに直属教会長自署押印すること。

御目標奉祀願	
所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番参拾号
天理教	〇〇 ふりがな 分教会
一、天理王命御目標	御壺体
一、教祖	御目標 御壺体
右御奉祀させて頂きたくお願い申し上げます	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 〇 印
天理教	〇〇 分教会長
天	天理教
〇 〇 〇 〇 〇 職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆）	職印
真柱	中山善司 殿

鎮座祭日並奉告祭日御許願	
所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番参拾号
天理教	〇〇 ふりがな 分教会
一、鎮座祭	立教 年 月 日
一、奉告祭	立教 年 月 日
右の日取りで執り行いたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 〇 印
天理教	〇〇 分教会長
天	天理教
〇 〇 〇 〇 〇 職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆）	職印
真柱	中山善司 殿

恒例祭日御許願									
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号									
天理教 ふりがな ○○ 分教会									
春季大祭 一月 日									
秋季大祭 十月 日									
月次祭 毎月 日									
(一月十月を除く)									
右のように定めたいので何卒お許し下さるようお願い い申し上げます									
立教 年 月 日									
天					天理教				
役員 ○ ○ ○ ○ 印									
役員 ○ ○ ○ ○ 印									
天理教 ○ ○ 分教会長									
○ ○ ○ ○ 職印									
天理教(直属)教会長									
(※直属教会長自筆) 職印									
真柱 中山善司 殿									

理 由 書									
天									
天理教									
立教 年 月 日									
天理教 ○ ○ 分教会長									
○ ○ ○ ○ 職印									
天理教(直属)教会長									
(※直属教会長自筆) 職印									

三、御目標再奉祀願

・本願は火災、天災地変等で御目標様の再奉祀を願う場合の書式である。

・親神様或いは教祖御目標様のいずれか御壱体の再奉祀を願い出るときも本書式に準ずる。

・神殿が火災、自然災害等で消失した場合は、神殿建築等を願い出で、完成を待つて改めて御目標再奉祀を願い出ること。

〔鎮座祭日並奉告祭日御許願〕

・鎮座祭、奉告祭の日取りは、お許しを戴いた翌月二十四日まで
の日で願い出ること。

・鎮座祭の翌日に奉告祭を執り行うこと。

〔理由書〕

・理由は具体的に詳記すること。

・末尾に立教年月日及び当該教会長並びに直属教会長自署押印すること。

御目標再奉祀願	
所在地	〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目式番参拾号
	天理教 〇〇 分教会 ふりがな
一、天理王命御目標	御壱体
一、教祖	御目標 御壱体
右別紙理由により再奉祀させて頂きたくお願い申し上げます	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 印
天 天 理 教	
天理教	〇 〇 分教会長
〇 〇 〇 〇	職 印
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職 印	
真柱 中山善司 殿	

四、任命願

- ・ 教会長出直後三ヶ月以内に教区を経由して願い出ること。
- ・ 遅延のときは、直属教会長の理由書を添付すること。
- ・ 後任教会長が若年又は教人登録後日浅く布教体験も少ない場合は直属教会長の御願書を添付すること。
- ・ 代務者のお許しを戴いているときは、同時に「代務者解任届」を届け出ること。

〔本願〕

- ・ 直属教会の任命願は全部属教会長連署を原則とする。
- ・ 註 部属教会で、無担任やその他の理由で署名捺印できない教会がある場合は、

天理教〇〇分教会

無 担 任

(又は捺印なし)

と記入し別紙理由書を以て復興目標や丹精の心定めを添えること。

〔辞職願〕

- ・ 辞職の理由は具体的に書き、教務上、一身上とはしない。
- ・ 理由は別紙理由書を添付してもよい。
- ・ 辞職願出日は願書作成日より前の日とし、年月日は任命願中の

辞職の年月日と一致すること。

- ・ 辞職教会長の印は実印を押すこと。
- ・ 前任者出直の場合は、事前に教人出直届を提出のこと。

〔財産引継始末書〕

- ・ 土地建物の所在地番は登記簿謄本又は登記事項証明書通りに正確に記入のこと。
- ・ 実質上教会所有の財産とみなされる土地建物が法人教会名義に登録されていない場合は、請書を添付すること。
- ・ 寄付を受けた場合は、寄付証書の写しと請書を、購入し所有権の移転登記が為されていない場合は、売買契約書の写しと請書を添付すること。
- ・ 借地・借家の場合は貸借契約書の写しを添付すること。
- ・ 引き続き移転又は建築を願い出る場合には登記簿謄本、寄付証書の写し、契約書の写し及び請書は、移転又は建築願書に添付すること。(但しお社取替願を併願の場合は任命願に添付)
- ・ 引き続き移転を願い出ている場合で土地建物について引き継ぐべき実態のないときは

一、土地なし

一、建物なし

引き続き移転を願っております

一、その他当教会の所有に属すべき一切の物件

右物件は・・・

と記入する。

註 実態のない場合とは、御目標様がお許し戴いた所在地になり場合を指す。

〔臨時祭典願〕

- ・就任奉告祭は原則としておはこび後三ヶ月以内につとめること。
- 同時に建築願を併願し工事日程から奉告祭が三ヶ月以内につとめられないときは直属教会長の理由書を添付すること。

〔添付書類〕

①後任者の「履歴書」

- ・教務課備え付けの所定の履歴書用紙を使用し墨書にて記入すること。

・後任教会長の氏名、本籍地は身分証明書に記載されている通りに記入すること。

・現住所は教会所在地を記入すること。

・末尾に自署押印（実印）すること。

②後任者の「身分証明書」

・本籍地の市町村区役所にて申請、取得できる。

・交付日から三ヶ月以内のものであること。

③後任者の「登記されていないことの証明書」

・「登記されていないことの証明書」とは、後任者が成年被後見人、被保佐人、被補助人等の登記をされていないことの証明書。

法務局にて申請、取得できる。

・交付日から三ヶ月以内のものであること。

④「土地建物登記簿謄本又は登記事項証明書」

・法務局にて申請、取得できる。

・名義人の如何を問わず教会が使用している物件全ての登記簿謄本又は登記事項証明書を添付すること。

・交付日から三ヶ月以内のものであること。

⑤「系統位置表」

・教務課備え付けの用紙を使用し、墨書にて記入すること。

註 出願と同時に後任教会長の「印鑑証明書」を宗教法人課へ提出すること。（但し非法人教会は不要）

任 命 願（※前任者辞職の場合）	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号	
天理教 ふりがな ○○○ 分教会	
右教会長○○○○は令和 年 月 日辞職い	
たしたいと願出ましたので○○○○を後任教会長とし	
て何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教 年 月 日	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
天理教 ○ ○ 分教会後任教会長	
天	天理教
○ ○ ○ ○ 実印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山 善司 殿	

任 命 願（※前任者出直の場合）	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号	
天理教 ふりがな ○○○ 分教会	
右教会長○○○○は令和 年 月 日出直し	
いたしましたので○○○○を後任教会長として何卒お	
許し下さるようお願い申し上げます	
立教 年 月 日	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
天理教 ○ ○ 分教会後任教会長	
天	天理教
○ ○ ○ ○ 実印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山 善司 殿	

財産引継始末書	
一、土地	
所在地番	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番
〇〇	〇〇〇、〇〇〇平方メートル
所有名義人	天理教 〇〇 分教会
一、建物	
所在	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番地
〇〇造〇〇葺	平家建 神殿 〇棟
床面積	〇〇、〇〇〇平方メートル
〇〇造〇〇葺	式階建 教職舎 〇棟
天理教	
床面積	〇〇、〇〇〇平方メートル
式階	〇〇、〇〇〇平方メートル
所有名義人	天理教 〇〇 分教会
一、その他当教会の所有に属すべき一切の物件	
右物件は本願お許し後之を証する書類と共に直ちに引継ぎいたします	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 印
天理教 〇〇 分教会長	

天理教	
〇 〇 〇 〇 実印	
天理教 〇〇 分教会後任教会长	
〇 〇 〇 〇 実印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山善司 殿	
天理教	

臨時祭典願									
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号									
天理教 ふりがな ○ ○ 分教会									
一、就任奉告祭 立教 年 月 日									
右の日取りで臨時祭典を執り行いたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます									
立教 年 月 日									
役員 ○ ○ ○ ○ 印									
役員 ○ ○ ○ ○ 印									
天理教 ○ ○ 分教会長									
天 天理教									
(後)任者名 職印									
天理教(直属)教会長									
(※直属教会長自筆) 職印									
真柱 中山善司 殿									

理由書 (※前任者出直し後三ヶ月以上経過した場合に添付)									
天理教○○分教会長○○○は令和 年 月 日									
出直しいたしましたのでその後速やかに後任者を定め									
任命願出る可き処(理由を詳記)によりその運びに至ら									
ずに遷延今日に立ち至りました事は全く私共の不行届									
の致すところであり誠に申し訳ない次第であります									
就きましては(今後の理の治めむき部内の修理肥につ									
いての心定めとお詫びを必ず記入)本願に及びましたの									
で何卒右事情御諒察下さいますようお願い申し上げます									
す									
天 天理教									
立教 年 月 日									
天理教(直属)教会長									
(※直属教会長自筆) 職印									
真柱 中山善司 殿									

御 願 (※後任者が教人登録してから一年未満の場合に添付)									
天理教〇〇分教会長〇〇〇〇の辞職願出(又は出直)									
により今般〇〇〇〇を以て後任者と選び定め任命願出									
に及びましたが本人は教人登録後日尚浅く(布教経験も									
少なく)教会長としてその重責を思ふ時誠に心もとない									
次第であります(当人を推す理由を記入) 本人将来の									
成人に期待をかけ本願に及びました次第でございます									
未熟の致す処幾重の道すがらもあろうかと存じます									
が今後私責任をもつて教会長としての理のつとめに欠									
くことのないよう一層の成人の道を歩ませて頂けるよ									
天 天 理 教									
う導かせて頂きますので何卒本願お許し下さるよ									
うお願い申し上げます									
立教 年 月 日									
天理教(直属)教会長									
(※直属教会長自筆) 職印									
真柱 中山善司 殿									

五、代務者任命願

- ・ 教会長が病氣その他の事故によって三月以上その職務を行うことができないときは、代務者を置かなければならない。
- ・ 前項の理由がなくなったとき、代務者は解任となる。
- ・ 必ずおはこびと同月の任命講習会を受講すること。

〔添付書類〕

①代務者の「履歴書」

- ・ 教務課備え付けの所定の履歴書用紙を使用し墨書にて記入すること。
- ・ 代務者の氏名、本籍地は身分証明書に記載されている通りに記入すること。
- ・ 現住所は教会所在地を記入すること。
- ・ 末尾に自署押印（実印）すること。

②代務者の「身分証明書」

- ・ 本籍地の市町村区役所にて申請、取得できる。
- ・ 交付日から三ヶ月以内のものであること。

③代務者の「登記されていないことの証明書」

- ・ 「登記されていないことの証明書」とは、代務者が成年被後見人、被保佐人、被補助人等の登記をされていないことの証明書。

法務局にて申請、取得できる。

- ・ 交付日から三ヶ月以内のものであること。

④「系統位置表」

- ・ 教務課備え付けの用紙を使用し、墨書にて記入すること。

註 出願と同時に代務者の「印鑑証明書」を宗教法人課へ

提出のこと。（但し非法人教会は不要）

代務者任命願									
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号									
天理教 ふりがな ○○○ 分教会									
右教会長○○○○令和○年○○月○○日より（理由）									
の為○○○○を教会長代務者として何卒お許し下さる									
ようお願い申し上げます									
立教 年 月 日									
役員 ○ ○ ○ ○ 印									
役員 ○ ○ ○ ○ 印									
天理教 ○ ○ 分教会長									
天					天理教				
天理教 ○ ○ 分教会長									
○ ○ ○ ○ 職印									
天理教 ○ ○ 分教会長代務者									
○ ○ ○ ○ 実印									
天理教（直属）教会長									
（※直属教会長自筆） 職印									
真柱 中山 善司 殿									

理由書									
天									
天理教									

履歴書									
所属教会		天理教〇〇分教会（〇〇部属）				振板名		〇〇〇〇 〇〇〇〇	
生年月日		昭和〇〇年〇〇月〇〇日				氏名		〇〇〇〇 〇〇〇〇	
本籍		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番地				女		男	
現住所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇拾号				性別		女	
年号		昭和〇〇年				履歴事項		（学歴、教歴、経歴ヲ年代順ニ記入スルコト）	
昭和〇〇年		〇月〇〇日				私立〇〇高等学校卒業			
平成〇〇年		〇月〇〇日				おさづけの理拝戴			
平成〇〇年		〇月〇〇日				修養科修了			
平成〇〇年		〇月〇〇日				教人資格講習会修了			
平成〇〇年		〇月〇〇日				教人登録			
令和〇〇年		〇月〇〇日				教会長資格検定講習会修了			
令和〇〇年		〇月〇〇日				教会長資格検定合格			
令和〇〇年		〇月〇〇日				教会長資格登録			
年		年				天理教			
年		年							
年		年							
年		年							
年		年							
年		年							
年		年							
年		年							
一、賞罰		なし							
一、身代償ノ処分若クハ被害又ハ家賃分取ノ宣告ヲ受ケタル事ノ有無並ニ債務ノ弁償ヲ了ヘタル日若クハ復権ノ決定シタル日		なし							
立教		年				月		日	
右		〇				〇		〇	
〇		〇				〇		〇	
印									

六、移転願

- ・移転に際しては、おちばを向いて礼拝出来るよう神床の位置を充分考慮すること。

- ・所在地番が同一であっても境内地外の場合は「移転」を願い出る。

- ・所在地番が異なっても同一境内地内である場合（境内地拡張の場合は出願前に登記完了のこと）は「移転」にはならない。

「神床位置変更願」となる

- ・但し飛地境内地はその限りでない。

〔本願〕

- ・移転地の建物に住居表示が実施されている場合は、証明する公文書を添付して、その住所で願い出ること。

〔項目書〕

- ・理由及び計画は具体的に書くこと。
- ・境内地の地目及び地積は一筆毎連記すること。
- ・境内建物は一棟毎連記すること。
- ・移転費予算額は収入・支出項目別に詳細に記入すること。
- ・補償金等、喜納金以外に収入の途がある場合には計上すること。
- ・登記にかかる費用は別項目で計上すること。

〔請書〕

- ・土地・建物の寄付（購入）にあたっては、必ず所有権の移転登記（所有者の変更）を出願までに完了のこと。その場合は請書は不要。

但し未完了の場合には

- ・「寄付証書の写し」及び「請書」
- ・「売買契約書の写し」及び「請書」
- ・「返還誓約書の写し」及び「請書」
- ・「貸借契約書の写し」

のいずれかを添付すること。

〔臨時祭典願〕

- ・移転先の所在地で願い出ること。
- ・改称願を伴う場合は改称名で願い出て、当該教会長押印は教会長個人の実印を用いる。
- ・無断で御鎮座したときには実際にお鎮めした日を記入し、奉告祭は理のお許しを戴いて後あらためてつとめること。
- ・同時に御目標奉祀、再奉祀を願い出る場合は「臨時祭典願」に代えて「鎮座祭日並奉告祭日御許願」とする。
- ・鎮座祭の翌日に奉告祭を執り行うこと。
- ・奉告祭は恒例祭日・霊祭日以外の日にとめること。
- ・鎮座祭は恒例祭日と同日であってもよい。但し恒例祭がおろそ

かにならないように注意すること。

「添付書類」

①境内地内建物の「平面図」

- ・ 北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・ 原則として縮尺100分の1程度とし、実寸をメートル法で記入して、用途及び畳数を記入すること。
- ・ 親神様、教祖、祖霊様、上段、礼拝場、神饌場、事務所、信者室等用途別に記入すること。

②境内地内建物の「配置図」

- ・ 北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・ 縮尺²⁵⁰分の1程度として境内建物の全部を記入すること。

③境内地内建物の「付近見取図」

- ・ 北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・ 交通機関も含めた詳細なものとする。

④「土地」・建物登記簿謄本又は登記事項証明書」

- ・ 交付日から三ヶ月以内のものであること。

⑤「系統位置表」

- ・ 教務課備え付けの用紙を使用し、墨書にて記入すること。

移転願	
所在地（墨書）○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号	
移転地（朱書）○○県○○市○○町四丁目五拾六番地七	
天理教 ふりがな ○○分教会	
右教会を朱書の地に移転いたしたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
役員	○ ○ ○ ○ ○ 印
役員	○ ○ ○ ○ ○ 印
天理教	○○分教会長
天	天理教
○ ○ ○ ○ ○	職印
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山 善司 殿	

移転項目書	
一、移転の理由及び計画 別紙の通り	
二、境内地の地目及び地積	〇〇 〇〇〇、〇〇〇平方メートル
(一筆毎連記)	
三、境内建物	
〇〇造〇〇葺 平家建 神殿 壱棟	
床面積 〇〇、〇〇〇平方メートル	
〇〇造〇〇葺 式階建 教職舎 壱棟	
天 天 理 教	
床面積 壱階 〇〇、〇〇〇平方メートル	
式階 〇〇、〇〇〇平方メートル	
四、従来の土地建物の処分	
五、土地建物の所有者の住所及び氏名	
土地建物共	
〇〇県〇〇市〇〇町四丁目五拾六番地七拾八	
天理教 〇〇 分教会	
六、移転費予算額	
一、金 万円也	

収入の途	
一、金 万円也 よふぼく信者の喜納金	
(二、金 万円也 土地建物売却金)	
支出の途	
一、金 万円也	
内訳	
一、金 万円也 土地建物購入費	
一、金 万円也 移転費	
一、金 万円也 祭神具購入費	
一、金 万円也 臨時祭典費	
天 天 理 教	
一、金 万円也 出願費	
一、金 万円也 諸雑費	

請書（※所有権の移転登記未了の場合）	
所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇拾号
一、土地	〇〇 〇〇〇、〇〇〇平方メートル
一、建物	〇〇造〇〇葺 平家建 神殿 〇棟
床面積	〇〇、〇〇〇平方メートル
〇〇造〇〇葺 式階建 教職舎 〇棟	
床面積 〇階	〇〇、〇〇〇平方メートル
式階	〇〇、〇〇〇平方メートル
天 天 理 教	
右土地建物は当教会に寄付を受けた（当教会のよふ	
ぼく信者の喜納金により購入した）ものでございます	
ので本願お許し後は速やかに当教会の基本財産として	
所有権の移転登記することをお請けいたします	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 印
天理教 〇〇 分教会長	
〇 〇 〇 〇	職 印
天理教（直属）教会長	

										（※直属教会長自筆）										職印	
										真柱											
										中山善司											
										殿											
										天											
										天											
										理											
										教											

臨時祭典願		
所在地	〇〇県〇〇市〇〇町四丁目五拾六番地七	
	天理教	ふりがな 〇〇分教会
一、鎮座祭	立教	年 月 日
一、奉告祭	立教	年 月 日
右の日取りで臨時祭典を執り行いたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます		
立教	年 月 日	
役員	〇 〇 〇 〇 印	
役員	〇 〇 〇 〇 印	
天理教		
天理教	〇 〇 分教会長	
〇 〇 〇 〇	職印	
天理教（直属）教会長		
（※直属教会長自筆）		職印
真柱 中山善司 殿		

七、移転建築願

- ・移転建築に際しては、おちばを向いて札拝出来るよう神床の位置を充分考慮すること。
- ・移転先において新築、増築、改築等をする場合は、すべて「移転建築願」となる。
- ・所在地番が同一であっても境内地外の場合は「移転建築」となる。
- ・所在地番が異なっても同一境内地内である場合（境内地拡張の場合は出願前に登記完了のこと）は「移転建築」にならない。
- 「神殿建築願」となる

〔本願〕

- ・移転地の建物に住居表示が実施されている場合は、証明する公文書を添付して、その住所で願い出ること。

〔項目書〕

- ・理由及び計画は具体的に書くこと。
- ・境内地の地目及び地積は一筆毎連記すること。
- ・境内建物は一棟毎連記すること。

移転建築願には

①さら地に新築する場合

②移転地の既設建物を取毀ち、その跡地に新築する場合

③移転地の既設建物を改築又は増築する場合があるが、

①の場合は、建築する建物の構造、用途、床面積のみを記入、
②③の場合は

イ、既設建物

ロ、取毀する建物

ハ、増築する建物

ニ、完成後の建物

の順に構造、用途、床面積を列記すること。

- ・移転建築費予算額は収入・支出項目別に詳細に記入すること。
- ・補償金等、喜納金以外に収入の途がある場合には計上すること。
- ・登記にかかる費用は別項目で計上すること。

〔請書〕

・新築の場合は、必ず表題登記（種類、構造、床面積の登記）の後、保存登記（所有権の登記）をすること。

・既設建物に増築や取毀、屋根葺替などをし構造や床面積に変更が生じる場合は、必ず表題変更登記をすること。

〔臨時祭典願〕

- ・移転先の所在地で願い出ること。
- ・改称を伴う場合は改称名で願い出て、当該教会長押印は教会長個人の実印を用いる。

- ・無断で御鎮座したときには実際にお鎮めした日を記入し、奉告祭は理のお許しを戴いて後あらためてつとめること。
- ・同時に御目標奉祀、再奉祀を願ひ出る場合は「臨時祭典願」に代えて「鎮座祭日並奉告祭日御許願」とする。
- ・鎮座祭の翌日に奉告祭を執り行うこと。
- ・奉告祭は恒例祭日・霊祭日以外の日につとめること。
- ・鎮座祭は恒例祭日と同日であつてもよい。但し恒例祭がおろそかにならないように注意すること。

〔添付書類〕

①境内地内建物の「平面図」

- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・原則として縮尺¹⁰⁰分の1程度とし、実寸をメートル法で記入して、用途及び畳数を記入すること。
- ・親神様、教祖、祖霊様、上段、礼拝場、神饌場、事務所、信者室等を用途別に記入すること。
- ・既設の建物があるときは新築分と区別して、新築分は朱線で示す。

②境内地内建物の「配置図」

- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・縮尺²⁵⁰分の1程度として境内建物の全部を記入すること。

③境内地内建物の「付近見取図」

- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・交通機関も含めた詳細なものとする。

④「土地・建物登記簿謄本又は登記事項証明書」

- ・交付日から三ヶ月以内のものであること。
- ・新築の場合は、必ず表題登記（種類、構造、床面積の登記）の後、保存登記（所有権の登記）をすること。

⑤「系統位置表」

- ・教務課備え付けの用紙を使用し、墨書にて記入すること。

移転建築願	
所在地(墨書)	〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号
移転地(朱書)	〇〇県〇〇市〇〇町四丁目五拾六番地七
天理教	天理教 〇〇 分教会
右教会を朱書の地に建築の上移転いたしたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 印
天理教	〇〇 分教会長
天理教	天理教
天理教(直属) 教会長	〇 〇 〇 〇 職印
(※直属教会長自筆)	職印
真柱	中山 善司 殿

移転建築項目書	
一、移転建築の理由及び計画 別紙の通り	
二、境内地の地目及び地積 〇〇 〇〇〇、〇〇〇平方メートル	
(一筆毎連記)	
三、境内建物 〇〇造〇〇葺 平家建 神殿 壱棟	
床面積 〇〇、〇〇〇平方メートル	
〇〇造〇〇葺 式階建 教職舎 壱棟	
天理教	天理教
床面積	壱階 〇〇、〇〇〇平方メートル
式階	〇〇、〇〇〇平方メートル
四、移転建築の着工及び竣工予定日 着工予定日 年 月 日 竣工予定日 年 月 日	
五、従来の土地建物の処分	
六、土地建物の所有者の住所及び氏名 土地建物共 〇〇県〇〇市〇〇町四丁目五拾六番地七拾八	

請書	
所在地 ○○県○○市○○町四丁目五拾六番地七	
一、建物	
○○造○○葺 平家建 神殿 桧棟	
床面積 ○○、○○平方メートル	
○○造○○葺 式階建 教職舎 桧棟	
床面積 桧階 ○○、○○平方メートル	
式階 ○○、○○平方メートル	
右建物は当教会のよふべく信者の喜納金により建築いたす建物でございますので建物竣工のうへは表題登	
天	天理教
記並びに当教会の基本財産として所有権の保存登記することをお願いいたします	
立教 年 月 日	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
天理教 ○ ○ 分教会長	
○ ○ ○ ○ 職印	
天理教 (直属) 教会長	
(※直属教会長自筆) 職印	
真柱 中山善司 殿	

臨時祭典願	
所在地 ○○県○○市○○町四丁目五拾六番地七	
天理教 ふりがな ○ ○ 分教会	
一、鎮座祭 立教 年 月 日	
一、奉告祭 立教 年 月 日	
右の日取りで臨時祭典を執り行いたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教 年 月 日	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
天理教 ○ ○ 分教会長	
○ ○ ○ ○ 職印	
天理教 (直属) 教会長	
(※直属教会長自筆) 職印	
真柱 中山善司 殿	

八、遷座祭日願

- ・本願は、神殿の建築計画その他の理由に伴って、御目標様を数日にわたって別の場所へお遷しする場合の書式である。
- ・火災、天災地変等により一時無断遷座した場合は実際に遷座した日を記入して願い出る。但し移転願に伴う無断遷座の場合は、遷座祭日願に替えてお詫書をもってお許し願う。
- ・移転建築に伴う遷座祭日願は移転前の所在地で願い出る。但し同時に改称を願い出る場合は移転先の所在地、改称名で願い出る。
- ・遷座祭は恒例祭日と同日であってもよい。但し恒例祭がおろそかにならないよう注意すること。

〔添付書類〕

①遷座の場所を明示した図面

- ・遷座する場所（仮神床）を朱線で囲む
- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・不敬にならず、朝夕のおつとめ及び恒例祭がつとめられる場所とすること。
- ・境内地外へ遷座するときは、遷座場所の付近見取図を添付すること。

遷座祭日願									
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号									
天理教 ふりがな ○○分教会									
一、遷座祭 立教 年 月 日									
別紙理由により右の日取りで遷座祭を執り行いたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます									
立教 年 月 日									
役員 ○ ○ ○ ○ ○ 印									
役員 ○ ○ ○ ○ ○ 印									
天理教 ○ ○ 分教会長									
天 天 理 教									
○ ○ ○ ○ ○ 職 印									
天理教（直属）教会長									
（※直属教会長自筆） 職 印									
真柱 中山善司 殿									

天

天
理
教

九、移転模様替願

・本願は、先に現在地に於いて建築のお許しを戴き又は移転或いは移転建築のお許しを戴いた後、事情のため取り止めて別の地に移転を願ひ出る場合の書式である。

・前回お許しを戴いた日取りで臨時祭典をつとめることができない場合は「臨時祭典日変更願」を併願のこと。

〔本願〕

・前回の願い出が移転を伴わない場合は「旧所在地」に替えて「従来の所在地」とし、「前回お許し所在地」は不要。

〔項目書〕

- ・理由及び計画は具体的に書くこと。
- ・前回の願い出が建築を伴う場合、「三、境内建物」の「前回願出分」は前回の完成後の建物を以て記入すること。
- ・移転費予算額は収入・支出項目別に詳細に記入すること。
- ・補償金等、喜納金以外に収入の途がある場合には計上すること。
- ・登記にかかる費用は別項目で計上すること。

〔請書〕

・土地・建物の寄付（購入）にあたっては、必ず所有権の移転登記（所有者の変更）を出願までに完了のこと。その場合は請書は不要。

但し未完了の場合には

- ・「寄付証書の写し」及び「請書」
- ・「売買契約書の写し」及び「請書」
- ・「返還誓約書の写し」及び「請書」
- ・「貸借契約書の写し」

のいずれかを添付すること。

〔添付書類〕

①境内地内建物の「平面図」

- ・前回願出分と今回模様替分を添付すること。
- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・原則として縮尺¹⁰⁰分の1程度とし、実寸をメートル法で記入して、用途及び畳数を記入すること。
- ・親神様、教祖、祖霊様、上段、札拝場、神饌場、事務所、信者室等を用途別に記入すること。

②境内地内建物の「配置図」

- ・前回願出分と今回模様替分を添付すること。
- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・縮尺²⁵⁰分の1程度として境内建物の全部を記入すること。

③境内地内建物の「付近見取図」

- ・前回願出分と今回模様替分を添付すること。

- ・ 北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・ 交通機関も含めた詳細なものとする。
- ④ 「土地・建物登記簿謄本又は登記事項証明書」
- ・ 今回模様替分を添付すること。
- ・ 交付日から三ヶ月以内のものであること。
- ⑤ 「系統位置表」
- ・ 教務課備え付けの用紙を使用し、墨書にて記入すること。

移転模様替願（※前回願出が移転の場合）	
旧所在地（墨書）	〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参号
前回お許し所在地（墨書）	〇〇県〇〇市〇〇町四丁目五番六号
模様替による所在地（朱書）	〇〇県〇〇市〇〇町七丁目拾番地
天理教	ふりがな 〇〇 分教会
右教会は立教	年 月 日付を以て墨書の
通り移転のお許しを戴いておりましたが別紙理由により朱書の地に移転模様替いたしたので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
天	天理教
役員	〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 印
天理教	〇 〇 分教会長
〇 〇 〇 〇 〇 〇	職印
天理教（直属）	教会長
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山 善司 殿	

移転模様替願（※前回願出が建築の場合）	
従来の所在地（墨書）	〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目式番参号
模様替による所在地（朱書）〇〇県〇〇市〇〇町七丁目拾番地	
天理教 〇〇 分教会	
右教会は立教	年 月 日付を以て墨書の
通り〇〇〇〇のお許しを戴いておりましたが別紙理由により朱書の地に移転模様替いたしたので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 印
天	天理教
役員	〇 〇 〇 〇 印
天理教	〇 〇 分教会長
〇 〇 〇 〇 〇 〇 職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山 善司 殿	

移転模様替項目書	
一、移転模様替の理由及び計画	
別紙の通り	
二、境内地の地目及び地積	
前回願出分（墨書）	
〇 〇 〇 〇 〇 〇、〇 〇 〇 平方メートル	
模様替分（朱書）	
〇 〇 〇 〇 〇 〇、〇 〇 〇 平方メートル	
三、境内建物	
前回願出分（墨書）	
天	天理教
〇 〇 造 〇 〇 葺 平家建 神殿 壱棟	
床面積	〇 〇、〇 〇 〇 平方メートル
模様替分（朱書）	
〇 〇 造 〇 〇 葺 平家建 神殿 壱棟	
床面積	〇 〇、〇 〇 〇 平方メートル
四、従来の土地建物の処分	
五、土地建物の所有者の住所及び氏名	
土地建物共	
〇 〇 県 〇 〇 市 〇 〇 町 七 丁目 拾 番 地	

天理教 ○○ 分教会	
六、移転模様替費予算額	
前回願出分（墨書）	
一、金	万円也
収入の途	
一、金	万円也 よふぼく信者の喜納金
支出の途	
一、金	万円也
内訳	
一、金	万円也 土地建物購入費
天	天理教
一、金	万円也 移転費
一、金	万円也 祭神具購入費
一、金	万円也 臨時祭典費
一、金	万円也 出願費
一、金	万円也 諸雑費
模様替による予算（朱書）	
一、金	万円也
収入の途	
一、金	万円也 ようぼく信者の喜納金
支出の途	

一、金	万円也
内訳	
一、金	万円也 土地建物購入費
一、金	万円也 移転費
一、金	万円也 祭神具購入費
一、金	万円也 臨時祭典費
一、金	万円也 出願費
一、金	万円也 諸雑費
天	天理教

請書	
(※必要に応じて)	
所在地	
〇〇県〇〇市〇〇町七丁目拾番地	
一、建物	
〇〇造〇〇葺	平家建
神殿	壱棟
床面積	〇〇、〇〇平方メートル
右建物は当教会のよふぼく信者の喜納金により購入したものでございますので本願お許し後は速やかに当教会の基本財産として所有権の移転登記することをお請けいたします	
立教	年 月 日
天	天理教
役員	〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 印
天理教	〇 〇 分教会長
〇 〇 〇 〇	職印
天理教 (直属) 教会長	
(※直属教会長自筆)	職印
真柱	中山善司 殿

所在地 ○○県○○市○○町七丁目拾番地

一、建物

○○造○○葺 平家建 神殿 壺棟

床面積
〇〇、〇〇平方メートル

右建物は当教会のよふぼく信者の喜納金により購入したものでございますので本願お許し後は速やかに当教会の基本財産として所有権の移転登記することをお請けいたします

立教
年
月
日

天
天
理
教

役員 ○ ○ ○ ○ 印

役員 ○ ○ ○ ○ 印

天理教 〇〇 分教会長

○
○
○
○
職印

天理教（直属）教会長

(※直属教会長自筆) 職印

真柱 中山善司 殿

臨時祭典日変更願（※必要に応じて）									
所在地 ○○県○○市○○町七丁目拾番地									
天理教 ふりがな ○○分教会									
一、鎮座祭 立教 年 月 日（墨書） 立教 年 月 日（朱書）									
一、奉告祭 立教 年 月 日（墨書） 立教 年 月 日（朱書）									
右教会は立教 年 月 日付を以て墨書の									
通り臨時祭典のお許しを戴いておりましたが別紙理由									
により朱書の通り変更いたしましたので何卒お許し下さ									
るようお願い申し上げます									
立教 年 月 日									
天					天理教				
役員 ○ ○ ○ ○ 印									
役員 ○ ○ ○ ○ 印									
天理教 ○ ○ 分教会長									
○ ○ ○ ○ 職印									
天理教（直属）教会長									
（※直属教会長自筆） 職印									
真柱 中山善司 殿									

理由書									
天									
天理教									

十、移転建築模様替願

・本願は、先に現在地に於いて建築のお許しを戴き又は移転或いは移転建築のお許しを戴いた後、事情のため取り止めて別の地に移転建築を願い出る場合の書式である。

・前回お許しを戴いた日取りで臨時祭典をつとめることができない場合は「臨時祭典日変更願」を併願のこと。

〔本願〕

・前回の願い出が移転を伴わない場合は「旧所在地」に替えて「従来の所在地」とし、「前回お許し所在地」は不要。

〔項目書〕

- ・理由及び計画は具体的に書くこと。
 - ・前回の願い出が建築を伴う場合、「三、境内建物」の「前回願出分」は前回の完成後の建物を以て記入すること。
 - ・前回の願い出が移転の場合、「四、移転建築模様替の着工及び竣工予定日」の「前回願出分」の記載は不要。
 - ・移転費予算額は収入・支出項目別に詳細に記入すること。
 - ・補償金等、喜納金以外に収入の途がある場合には計上すること。
- 登記にかかる費用は別項目で計上すること。

〔請書〕

・新築の場合は、必ず表題登記（種類、構造、床面積の登記）の

後、保存登記（所有権の登記）をすること。

・既設建物に増築や取毀、屋根葺替などをし構造や床面積に変更が生じる場合は、必ず表題変更登記をすること。

〔添付書類〕

①境内地内建物の「平面図」

・前回願出分と今回模様替分を添付すること。

・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。

・原則として縮尺100分の1程度とし、実寸をメートル法で記入して、用途及び畳数を記入すること。

・親神様、教祖、祖霊様、上段、礼拝場、神饌場、事務所、信者室等を用途別に記入すること。

②境内地内建物の「配置図」

・前回願出分と今回模様替分を添付すること。

・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。

・縮尺250分の1程度として境内建物の全部を記入すること。

③境内地内建物の「付近見取図」

・前回願出分と今回模様替分を添付すること。

・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。

・交通機関も含めた詳細なものとする。

④「土地・建物登記簿謄本又は登記事項証明書」

- ・今回模様替分を添付すること。
- ・交付日から三ヶ月以内のものであること。

⑤「系統位置表」

- ・教務課備え付けの用紙を使用し、墨書にて記入すること。

移転建築模様替願（※前回願出が移転の場合）	
旧所在地（墨書）	〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目式番参号
前回お許し所在地（墨書）	〇〇県〇〇市〇〇町四丁目五番六号
模様替による所在地（朱書）	〇〇県〇〇市〇〇町七丁目拾番地
天理教	ふりがな 〇〇 分教会
右教会は立教	年 月 日付を以て墨書の
通り移転のお許しを戴いておりましたが別紙理由により朱書の地に移転建築模様替いたしたので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
天	天理教
役員	〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 印
天理教	〇 〇 分教会長
天理教	〇 〇 〇 〇 職印
天理教（直属）	教会長
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山 善司 殿	

移転建築模様替願（※前回願出が建築の場合）	
従来の所在地（墨書）	〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目式番参号
模様替による所在地（朱書）〇〇県〇〇市〇〇町七丁目拾番地	
天理教 〇〇 分教会	
右教会は立教	年 月 日付を以て墨書の
通り〇〇〇〇のお許しを戴いておりましたが別紙理由により朱書の地に移転建築模様替いたしたので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 印
天	天理教
役員	〇 〇 〇 〇 印
天理教	〇 〇 分教会長
〇 〇 〇 〇 〇 〇	職印
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山 善司 殿	

移転建築模様替項目書	
一、移転建築模様替の理由及び計画	
別紙の通り	
二、境内地の地目及び地積	
前回願出分（墨書）	
〇 〇 〇 〇 〇、〇 〇 〇 平方メートル	
模様替分（朱書）	
〇 〇 〇 〇 〇、〇 〇 〇 平方メートル	
三、境内建物	
前回願出分（墨書）	
天	天理教
〇 〇 造 〇 〇 葺	平家建 神殿 壺棟
床面積	〇 〇、〇 〇 〇 平方メートル
模様替分（朱書）	
〇 〇 造 〇 〇 葺	平家建 神殿 壺棟
床面積	〇 〇、〇 〇 〇 平方メートル
四、移転建築模様替の着工及び竣工予定日	
前回願出分（墨書）	
着工予定日	年 月 日
竣工予定日	年 月 日
模様替による日（朱書）	

着工予定日	立教	年	月	日
竣工予定日	立教	年	月	日
五、従来の土地建物の処分				
六、土地建物の所有者の住所及び氏名				
土地建物共				
〇〇県〇〇市〇〇町七丁目拾番地				
天理教 〇〇 分教会				
七、移転建築模様替費予算額				
前回願出分（墨書）				
天		天理教		
一、金	万円也			
収入の途				
一、金	万円也	よふぼく信者の喜納金		
支出の途				
一、金	万円也			
内訳				
一、金	万円也	土地建物購入費		
一、金	万円也	移転費		
一、金	万円也	祭神具購入費		
一、金	万円也	臨時祭典費		

一、金	万円也	出願費
一、金	万円也	諸雑費
模様替による予算（朱書）		
一、金	万円也	
収入の途		
一、金	万円也	よふぼく信者の喜納金
支出の途		
一、金	万円也	
内訳		
一、金	万円也	土地購入費
天		
天理教		
一、金	万円也	建築費
一、金	万円也	移転費
一、金	万円也	祭神具購入費
一、金	万円也	臨時祭典費
一、金	万円也	出願費
一、金	万円也	諸雑費

十一、建築願

・本願は建築、増築、改築等の場合の書式である。

・建築のおはこび基準は以下の通りである。

イ、御目標様の御遷座を要する場合は、おはこびの対象とする。

ロ、登記されるべき建物（※）で床面積や構造に変更が生じる

場合は、おはこびの対象とする。

※登記されるべき建物とは、屋根及び周壁又はこれらに類するもの

を有し、土地に定着した建造物であつて、その目的とする用途に

供し得る状態にあるもの（不動産登記規則第二二条）とする。

ハ、門や塀、または基礎がない建物はおはこびの対象としない。

ニ、壁床の板張替や内部改造など建物の構造変更が生じない場

合は、おはこびの対象としない。

ホ、「瓦から瓦へ」の屋根葺替など建物の構造変更が生じない

場合は、おはこびの対象としない。

但し、御目標様の御遷座を要する場合は除く。

ヘ、畳をフローリングにする、ソーラーパネルの設置、便所を

和式から洋式に変更または便器の取替、木製窓をステンレ

スサッシに取替などは、設備や機器の変更・取替であり、

おはこびの対象としない。

ト、おはこびの対象とならない場合は、修築や内部改造、屋根

葺替などの届を事前に教務部長宛に提出する。

・神殿建築に際しては、おちばを向いて礼拝出来るようにし、神床の位置及び神饌所については不敬のないよう充分考慮すること。

・神殿建築や御目標様の御遷座を要する場合は「臨時祭典願（鎮座祭奉告祭）」が必要。

・遷座を要しないときも普請施工に当って不敬にならぬよう充分注意をすること。特に神床近辺の普請であるときは遷座を要しない事由を項目書の計画の中で述べ、普請に際しては細心の注意をする旨を明確に記入すること。

〔本願〕

・建築の内容により願書の表題が多種にわたるので、特に注意すること。（「建築関係願書要項」を参照のこと）

〔項目書〕

- ・理由及び計画は具体的に書くこと。
- ・境内地の地目及び地積は一筆毎連記すること。
- ・境内建物は一棟毎連記すること。
- ・建築費予算額は収入・支出項目別に詳細に記入すること。
- ・補償金等、喜納金以外に収入の途がある場合には計上すること。
- ・登記にかかる費用は別項目で計上すること。
- ・建築のため境内地を拡張した場合には、その費用を計上すること。

〔請書〕

- ・ 建築建物（及び未登記物件）についての請書。
- ・ 新築の場合は、必ず表題登記（種類、構造、床面積の登記）の後、保存登記（所有権の登記）をすること。
- ・ 増築や取毀、屋根葺替など建物の構造や床面積に変更が生じる場合は、必ず表題変更登記をすること。

〔臨時祭典願〕

- ・ 鎮座祭の翌日に奉告祭を執り行うこと。
- ・ 奉告祭は恒例祭日・霊祭日以外の日につとめること。
- ・ 鎮座祭は恒例祭日と同日であってもよい。但し恒例祭がおろそかにならないように注意すること。

〔添付書類〕

① 境内地内建物の「平面図」

- ・ 建築部分を朱記、遷座を要する場合は遷座場所も図示する。
- ・ 北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・ 原則として縮尺100分の1程度とし、実寸をメートル法で記入して、用途及び畳数を記入すること。
- ・ 親神様、教祖、祖霊様、上段、礼拝場、神饌場、事務所、信者室等を用途別に記入すること。

② 境内地内建物の「配置図」

- ・ 建築部分を朱記、遷座を要する場合は遷座場所も図示する。
- ・ 北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・ 縮尺²⁵⁰分の1程度として境内建物の全部を記入すること。
- ③ 「土地・建物登記簿謄本又は登記事項証明書」
- ・ 交付日から三ヶ月以内のものであること。

④ 「系統位置表」

- ・ 教務課備え付けの用紙を使用し、墨書にて記入すること。

〇〇築願	所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番参拾号	天理教 〇〇 ふりがな 分教会	右教会は別紙項目書の通り〇〇築いたしたので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	立教 年 月 日	役員 〇 〇 〇 〇 印	役員 〇 〇 〇 〇 印	天理教 〇〇 分教会長	天理教 〇 〇 〇 〇 職印	天理教 天理教	天理教（直属）教会長 （※直属教会長自筆） 職印							真柱 中山 善司 殿
------	------------------------	--------------------------------	--	----------	--------------	--------------	-------------	----------------	---------	-----------------------------	--	--	--	--	--	--	------------

〇〇築項目書	一、〇〇築の理由及び計画 別紙の通り	二、境内地の地目及び地積 〇〇 〇〇〇、〇〇〇平方メートル （一筆毎連記）	三、境内建物 イ、既設建物 〇〇造〇〇葺 平家建 神殿 塙棟 床面積 〇〇、〇〇〇平方メートル	天理教 天理教	〇〇造〇〇葺 式階建 教職舎 塙棟 床面積 塙階 〇〇、〇〇〇平方メートル 式階 〇〇、〇〇〇平方メートル	ロ、取毀する建物 〇〇造〇〇葺 平家建 神殿 塙棟 床面積 〇〇、〇〇〇平方メートル	ハ、〇〇築する建物 〇〇造〇〇葺 平家建 神殿 塙棟 床面積 〇〇、〇〇〇平方メートル	ニ、完成後の建物
--------	-----------------------	---	--	---------	---	--	---	----------

臨時祭典願（※必要に応じて）	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号	
天理教 ふりがな ○○ 分教会	
一、鎮座祭 立教 年 月 日	
一、奉告祭 立教 年 月 日	
右の日取りで臨時祭典を執り行いたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教 年 月 日	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
天	天理教
天理教 ○ ○ 分教会長	
○ ○ ○ ○ 職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山善司 殿	

十二、建築模様替願

- ・本願は建築のお許しを戴いた後、計画に変更が生じた場合の書式である。

「建築関係願書要項」を参照のこと。

- ・前回お許しを戴いた日取りで臨時祭典をつとめることができない場合は「臨時祭典日変更願」を併願のこと。

〔項目書〕

- ・理由及び計画は具体的に書くこと。
- ・境内地の地目及び地積は一筆毎連記すること。
- ・境内建物は一棟毎連記すること。
- ・建築費予算額は収入・支出項目別に詳細に記入すること。
- ・補償金等、喜納金以外に収入の途がある場合には計上すること。
- ・登記にかかる費用は別項目で計上すること。
- ・建築のため境内地を拡張した場合には、その費用を計上すること。
- ・項目書の「二」「四」「六」で前回と変更のないときは「前回お許し通り」と付記し朱書は不要。

〔請書〕

- ・建築建物（及び未登記物件）についての請書。
- ・新築の場合は、必ず表題登記（種類、構造、床面積の登記）の後、保存登記（所有権の登記）をすること。

- ・増築や取毀、屋根葺替など建物の構造や床面積に変更が生じる場合は、必ず表題変更登記をすること。

〔添付書類〕

①境内地内建物の「平面図」

- ・前回願出分と今回模様替分を添付すること。
- ・建築部分を朱記、遷座を要する場合は遷座場所も図示する。
- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・原則として縮尺 $\frac{1}{100}$ の1程度とし、実寸をメートル法で記入して、用途及び畳数を記入すること。
- ・親神様、教祖、祖霊様、上段、礼拝場、神饌場、事務所、信者室等を用途別に記入すること。

②境内地内建物の「配置図」

- ・前回願出分と今回模様替分を色分けして明示すること。
- ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
- ・縮尺 $\frac{1}{250}$ の1程度として境内建物の全部を記入すること。
- ③「土地・建物登記簿謄本又は登記事項証明書」
- ・交付日から三ヶ月以内のものであること。

④「系統位置表」

- ・教務課備え付けの用紙を使用し、墨書にて記入すること。

・増築する建物	〇〇造〇〇葺	平家建	教職舎	壱棟
床面積	〇〇、〇〇平方メートル			
・完成後の建物	〇〇造〇〇葺	平家建	神殿	壱棟
床面積	〇〇、〇〇平方メートル			
〇〇造〇〇葺	平家建	教職舎	壱棟	
床面積	〇〇、〇〇平方メートル			
八、今回模様替建物（朱書）				
・増築する建物				
天	天理教			
〇〇造〇〇葺	平家建	教職舎	壱棟	
床面積	〇〇、〇〇平方メートル			
〇〇造〇〇葺	式階建	教職舎	壱棟	
床面積	〇〇、〇〇平方メートル			
式階	〇〇、〇〇平方メートルに模様替			
二、完成後の建物（墨書）				
〇〇造〇〇葺	平家建	神殿	壱棟	
床面積	〇〇、〇〇平方メートル			
〇〇造〇〇葺	式階建	教職舎	壱棟	
床面積	〇〇、〇〇平方メートル			

式階	〇〇、〇〇平方メートル			
四、〇〇〇〇の着工及び竣工予定日				
前回願出分（墨書）				
着工予定日	立教	年	月	日
竣工予定日	立教	年	月	日
模様替による日（朱書）				
着工予定日	立教	年	月	日
竣工予定日	立教	年	月	日
五、土地建物の所有者の住所及び氏名				
土地建物共				
天	天理教			
〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目式番参拾号				
天理教	〇〇	分教会		
六、〇〇〇〇費予算額				
前回願出の予算（墨書）				
一、金	万円也			
収入の途				
一、金	万円也	よふぼく信者の喜納金		
支出の途				
一、金	万円也			
内訳				

一、金	万円也	〇〇築費
一、金	万円也	祭神具購入費
一、金	万円也	臨時祭典費
一、金	万円也	測量登記費
一、金	万円也	出願費
一、金	万円也	諸雑費
模様替による予算（朱書）		
一、金	万円也	
収入の途		
一、金	万円也	よふぼく信者の喜納金
天理教		
支出の途		
一、金	万円也	
内訳		
一、金	万円也	〇〇築費
一、金	万円也	祭神具購入費
一、金	万円也	臨時祭典費
一、金	万円也	測量登記費
一、金	万円也	出願費
一、金	万円也	諸雑費

一、建築模様替の理由及び計画														
天理教														

請書	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号	
一、建物	
○○造○○葺 平家建 教職舎 壱棟	
床面積 ○○、○○平方メートル	
右建物は当教会のよふべく信者の喜納金により建築いたす建物でございますので建物竣工のうえは表題登記並びに当教会の基本財産として所有権の保存登記することをお願いいたします	
立教 年 月 日	天理教
役員 ○○ ○○ 印	
役員 ○○ ○○ 印	
天理教 ○○ 分教会長	
○○ ○○ ○○ 職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山善司 殿	

十三、お社取替願

- ・本願はお社の取り替えを願い出る場合の書式である。
- ・土地・建物登記簿謄本又は登記事項証明書、契約書等は不要。
- ・お社取替に際し、御目標様を数日にわたって別の場所へお遷しするときは、同時に「遷座祭日願」を願い出ること。

〔本願〕

- ・表題は、親神様、教祖、祖霊様三社とも取り替える場合は「お社取替願」、一社又は二社のみ取り替える場合は「〇〇・〇〇お社取替願」とする。

〔項目書〕

- ・理由及び計画の中に、御遷座の要、不要を明示すること。
- ・境内地の地目及び地積は一筆毎連記すること。
- ・境内建物は一棟毎連記すること。
- ・予算は収入・支出項目別に詳細に記入すること。

〔臨時祭典願〕

- ・鎮座祭の翌日に奉告祭を執り行うこと。
- ・奉告祭は恒例祭日・霊祭日以外の日にとめること。
- ・鎮座祭は恒例祭日と同日であってもよい。但し恒例祭がおろそかにならないように注意すること。

〔添付書類〕

- ①お社取替場所を明示した図面
 - ・北方位を示し（黒線）おちば方位を明示（朱線）すること。
 - ・図面には神床を明示し、新しいお社の場所を朱線で囲む。
- ②「系統位置表」
 - ・教務課備え付けの用紙を使用し、墨書にて記入すること。

お社取替願	
所在地	〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号
天理教	天理教 〇〇 分教会
右教会は別紙項目書の通り親神様、教祖、祖霊様のお社取替いたしたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 印
天理教	天理教 〇〇 分教会長
天理教	天理教
天理教 (直属) 教会長	天理教 〇 〇 〇 〇 職印
(※直属教会長自筆)	職印
真柱 中山 善司 殿	

お社取替項目書	
一、お社取替の理由及び計画	
別紙の通り	
二、境内地の地目及び地積	
〇〇 〇〇〇、〇〇〇平方メートル	
(一筆毎連記)	
三、境内建物	
イ、既設建物	
〇〇造〇〇葺 平家建 神殿 壱棟	
床面積 〇〇、〇〇〇平方メートル	
天理教	天理教
〇〇造〇〇葺 貳階建 教職舎 壱棟	
床面積 壱階 〇〇、〇〇〇平方メートル	
貳階 〇〇、〇〇〇平方メートル	
四、お社取替の期日	
立教	年 月 日
五、土地建物の所有者の住所及び氏名	
土地建物共	
〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号	
天理教 〇〇 分教会	
六、お社取替費予算額	

一、金	万円也	
収入の途		
一、金	万円也	よふぼく信者の喜納金
支出の途		
一、金	万円也	
内訳		
一、金	万円也	お社購入費
一、金	万円也	臨時祭典費
一、金	万円也	出願費
一、金	万円也	諸雜費
天	天理教	

臨時祭典願	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号	
天理教 ふりがな ○○分教会	
一、鎮座祭 立教 年 月 日	
一、奉告祭 立教 年 月 日	
右の日取りで臨時祭典を執り行いたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教 年 月 日	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
天	天理教
天理教 ○ ○ 分教会長	
○ ○ ○ ○ 職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山善司 殿	

十四、改称願

- ・名称には原則として教語・国名・大都市名等を用いない。
- ・既設教会と同音、同字の名称は認められない。
- ・仮名のみの名称は避けること。
- 但し仮名の名称については海外教会はその限りでない。
- (事前に教務課へ問い合わせて間違いのないよう注意すること)

〔本願〕

- ・移転願を伴う場合は移転先の所在地で願い出る。
- ・名称選定については設立の場合に準ずる。
- ・当該教会名は従来の名称で願い出る。

〔理由書〕

- ・理由は具体的に詳記すること。
- 「心機一転のため」等とはしない。

改 称 願	
所在地	〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目式番参拾号
(従来)	天理教 ふりがな 〇〇〇 分教会 (墨書)
(改称)	天理教 ふりがな △△ 分教会 (朱書)
右教会は従来墨書の通りお許しを戴いておりました が別紙理由により朱書の通り改称いたしたので何卒 お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
役員	〇 〇 〇 〇 〇 印
役員	〇 〇 〇 〇 〇 印
天	天 理 教
天理教 (従来)	分教会長
〇 〇 〇 〇 〇	職 印
天理教 (直属)	教会長
(※直属教会長自筆)	職 印
真柱 中山善司 殿	

天

天理教

十五、恒例祭日変更願

〔本願〕

- ・旧（墨書）新（朱書）を一行にして列記する。
- ・変更を要する祭典だけを記載すればよい。
- ・四月の月次祭を別の日につとめる場合は
（四月に限り○日）
と付記して願うこと。
- ・変更によつて四月の月次祭も例月通りにつとめる場合には、その旨を理由書に明記すること。
- ・本部及び上級教会の恒例祭の関連に注意すること。
- ・移転願を伴う場合は、移転先の所在地で願い出る。
- ・改称願を伴う場合は、改称名で願い出て、当該教会長押印は実印を用いる。

〔理由書〕

- ・理由は具体的に詳記すること。

恒例祭日変更願	
所在地　○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号	
天理教	分教会
春季大祭　一月　日（墨書）	一月　日（朱書）
秋季大祭　十月　日（墨書）	十月　日（朱書）
月次祭　毎月　日（墨書）	毎月　日（朱書）
（二月、十月を除く）（墨書）（二月、十月を除く）（朱書）	
右教会は従来恒例祭日を墨書の通りお許しを戴いて おりましたが別紙理由により朱書の通り変更いたしました いので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
天	天理教
立教　年　月　日	
役員　○　○　○　○　印	
役員　○　○　○　○　印	
天理教　○　○　分教会長	
○　○　○　○　職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆）	職印
真柱　中山善司　殿	

天

天理教

十六、恒例祭日臨時変更願

〔本願〕

- ・移転願を伴う場合は、移転先の所在地で願い出る。
- ・改称願を伴う場合は、改称名で願い出て、当該教会長押印は実印を用いる。

〔理由書〕

- ・理由は具体的に詳記すること。

恒例祭日臨時変更願		(※大祭日変更の場合)	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目式番参拾号			
天理教		分教会	
○季大祭		月 日 (墨書)	
本年に限り		月 日 (朱書)	
右教会は従来○季大祭を墨書の通りお許し戴いておりましたが別紙理由により朱書の通り変更いたしたいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます			
立教		年 月 日	
役員		○ ○ ○ ○ 印	
天		天理教	
役員		○ ○ ○ ○ 印	
天理教		分教会長	
○ ○ ○ ○		職印	
天理教(直属)教会長			
(※直属教会長自筆)		職印	
真柱 中山善司 殿			

恒例祭日臨時変更願		(※月次祭日変更の場合)	
所在地		〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号	
天理教		〇〇 ふりがな 分教会	
月次祭		月 日 (墨書)	
本年		月に限り 日 (朱書)	
右教会は従来月次祭を墨書の通りお許し戴いており ましたが別紙理由により朱書の通り変更いたしたいの で何卒お許し下さるようお願い申し上げます			
立教		年 月 日	
役員		〇 〇 〇 〇 印	
天		天理教	
役員		〇 〇 〇 〇 印	
天理教		〇 〇 分教会長	
天理教 (直属) 教会長		〇 〇 〇 〇 職印	
(※直属教会長自筆)		職印	
真柱 中山善司 殿			

恒例祭日臨時変更願		(※年が変わる場合)	
所在地		〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号	
天理教		〇〇 ふりがな 分教会	
〇季大祭		月 日 (墨書)	
立教		年に限り 月 日 (朱書)	
右教会は従来〇季大祭を墨書の通りお許し戴いてお りましたが別紙理由により朱書の通り変更いたしたい ので何卒お許し下さるようお願い申し上げます			
立教		年 月 日	
役員		〇 〇 〇 〇 印	
天		天理教	
役員		〇 〇 〇 〇 印	
天理教		〇 〇 分教会長	
天理教 (直属) 教会長		〇 〇 〇 〇 職印	
(※直属教会長自筆)		職印	
真柱 中山善司 殿			

十七、臨時祭典日変更願

・本願は、臨時祭典をお許し戴いた日につとめられない場合の書式である。

・前回お許し戴いた臨時祭典日を迎えるまでに、運ばなければならない。

〔本願〕

・前回お許し分（墨書）今回変更願出分（朱書）を一行に書くこと。

・就任奉告祭の変更を願い出るときもこれに準ずる。

・遷座祭日の変更を願い出るときは、「遷座祭日変更願」とし、書式はこれに準ずる。

〔理由書〕

・理由は具体的に詳記すること。

臨時祭典日変更願	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目式番参拾号	
天理教	ふりがな ○○○分教会
一、鎮座祭	立教 年 月 日（墨書） 立教 年 月 日（朱書）
一、奉告祭	立教 年 月 日（墨書） 立教 年 月 日（朱書）
右教会は立教	年 月 日付を以て墨書の
通り臨時祭典のお許しを戴いておりましたが別紙理由により朱書の通り変更いたしましたので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
天	天理教
役員	○○○印
役員	○○○印
天理教	○○○分教会長
○ ○ ○	職印
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆）	職印
真柱	中山善司 殿

天

天
理
教

十八、臨時祭典願（創立記念祭）

- ・記念祭は、記念日を迎える年の一月から十二月の間の日取りで願い出ること。
- ・設立の年より計算して満年に当る場合は「創立〇〇周年記念祭」。
- ・設立の年より計算して数え年に当る場合は「創立〇〇年記念祭」。
- ・十年を区切りに願い出ること。

臨時祭典願	
所在地 〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号	
天理教	ふりがな 〇〇分教会
創立〇〇(周)年記念祭	立教 年 月 日
右教会は 年 月 日	設立のお許しを戴きま
したので右の日取りで臨時祭典を執り行いたく何卒お	
許し下さるようお願い申し上げます	
立教 年 月 日	
役員 〇 〇 〇 〇 印	
役員 〇 〇 〇 〇 印	
天	天理教
天理教 〇 〇 分教会長	
〇 〇 〇 〇 〇 職印	
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆）	職印
真柱 中山善司 殿	

十九、教会所属変更願

- ・本願は、他の直属へ所属変更する場合の書式である。
- ・おはこびを必要とする。
- ・同一直属内に於いて所属変更する場合は「教会所属変更届」となり、天理教表統領に届け出る。おはこびの必要なし。

〔理由書〕

- ・理由は具体的に詳記すること。
- ・従来の教人・よふぼく・信者及び資産の帰属並びに新所属での系統位置を明記すること。
- ・部内教会・布教所の帰属も明記すること。

教会所属変更願（※直属教会を変更する場合の書式）	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号	
天理教 かりがな ○○○ 分教会	
旧所属教会 天理教○○大(分)教会（墨書）	
新所属教会 天理教○○大(分)教会（朱書）	
右教会は従来墨書の通り所属いたしておりましたが別紙理由により朱書の通り所属を変更いたしたので何卒お許し下さるよう関係教会長連署の上お願い申し上げます	
立教 年 月 日	天理教
役員 ○○○ 印	
役員 ○○○ 印	
(当 該) 天理教 ○○○ 分教会長	
(旧直属) 天理教 ○○○ 大(分)教会長	職印
(※直属教会長自筆)	
(新直属) 天理教 ○○○ 大(分)教会長	職印
(※直属教会長自筆)	
真柱 中山善司 殿	

天

天
理
教

建築関係願書要項―表題例―

(1) 建築願

イ、神殿を新しく建築する場合「神殿建築願」とする。

ロ、建築の上移転する場合は、全て「移転建築願」とする。

ハ、神殿と共に附属建物を新しく建築する場合は「神殿及附属建物建築願」とする。

註 原則として神殿一棟の内に会長室事務室その他附属の施設が含まれてある場合も登記面の名称如何に拘わらず建築願書では「神殿」として取り扱う。

(2) 増築願

イ、附属建物を新築する場合「附属建物増築願」（神殿と共に新築の場合は(1)のハによる）

ロ、既設の建物に一部建て増す場合「神殿増築願」或いは「附属建物増築願」とする。

(3) 改築願

イ、附属建物の屋根を含めてそのまま建て替える場合。

ロ、既設建物の一部を屋根を含めて取り毀ち、床面積が同じか又は床面積を減少して建て替える場合「神殿改築願」或いは「附属建物改築願」とする。

(4) 増改築願

イ、既設建物の一部を取り毀ち、建て増しをして床面積が増加

する場合「神殿増改築願」或いは「附属建物増改築願」とする。

註・既設の附属建物を取り毀ちその跡地へ神殿を建築する場合「神殿建築願」

・既設の神殿部分に接続して増築するため既設の附属建物を取り毀つ場合「神殿増築願」

・イで床面積が減少する場合「神殿改築願」或いは「附属建物改築願」

(5) 修築願

既設神殿建物の土台・柱・天井・鴨居・庇等の取替修理（改築するほどでない場合）において御目標様の御遷座を要する場合「神殿修築願」とする。

(6) 内部改造願

既設神殿建物内部の改造において御目標様の御遷座を要する場合「神殿内部改造願」とする。

(7) 屋根葺替願

既設神殿屋根を葺替（一部分葺替の場合も）において御目標様の御遷座を要する場合「神殿屋根葺替願」とする。

(8) 移動願

イ、既設神殿建物をそのまま曳家又は解体移動する場合「神殿移動願」とする。

ロ、既設建物の一部を取り毀ち、残りの部分を他の場所へ曳家又は解体移動する場合「神殿移動改築願」或いは「附属建物移動改築願」とする。

ハ、既設建物の一部を取り毀ち、残りの部分を曳家又は解体移動して更に大きく建て増す場合「神殿移動増改築願」或いは「附属建物移動増改築願」とする。

註 所在地番が同一であっても同一境内地外の場合は、「移転建築願」とする。

(9) 神床（或いは上段）模様替願

神床或いは上段の構造を変える場合

例 教祖の神床のみを模様替するときは「教祖神床模様替願」とする。

(10) 神床位置変更願

イ、おちばを向いて礼拝出来るよう従来の神床の位置を変えるような場合「神床位置変更願」とする。

ロ、従来別殿にお祀りしてあった教祖の御目標様を神殿にお祀りする場合「教祖神床位置変更願」とする。

註・「移転願」「移転建築願」「神殿増改築願」に伴って神床の位置を変える場合はそれぞれの願のみで本項の願は不要。

・数日にわたって御目標様をお遷しするときは「遷座祭日願」を願い出る。

(11) お社取替願

親神様・教祖・祖霊様（或いはその一社）のお社を取り替える場合

(12) 神床壁塗替願

(13) 建築模様替願

イ、先にお許しを戴いた建物の構造、床面積、間取り等に変更が生じる場合

ロ、先に「移転建築願」のお許しを戴き、建築計画に変更が生じる場合

ハ、イ・ロに加え取り毀ち、増築する場合

イ、ロ、ハとも「建築模様替願」とする。

(14) 移転模様替願

先に現在地に於いて建築のお許しを戴き又は移転或いは移転建築のお許しを戴いた後、事情のため取り止めて別の地に移転を願い出る場合「移転模様替願」とする。

(15) 移転建築模様替願

先に現在地に於いて建築のお許しを戴き又は移転或いは移転建築のお許しを戴いた後、事情のため取り止めて別の地に移転建築を願い出る場合「移転建築模様替願」とする。

(16) 移転建築願

移転地に建物の新築又は増改築の上移転を願ひ出る場合全
て「移転建築願」とする。

以上十六項目の表題を例示したが、現実にはこれらの組み合わせの形を取ることが多く、又いずれの例にも当てはまり難いことも起こる。いつの場合でも、理のお許しを戴いて事に当たることを心において判断すること。

註 表題の重なる場合

イ、お社―神床―神殿―附属建物の順に並べる。

ロ、二つの表題をつなぐときは「及」でつなぎ「○○○○及○○

○願」とする。

三つ以上の表題をつなぐときは、途中は「及」又は「、」で
つなぎ最後を「並」でつなぎ、「○○○○及○○○○、○○○○並
○○○○願」とする。

請書 (例1)	所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番地参	一、土地	○○ ○○○、○○平方メートル	一、建物	○○造○○葺 平家建 神殿・教職舎 壱棟	床面積 ○○、○○平方メートル	右土地建物は当教会に寄付を受けた(当教会のよふ ばく信者の喜納金により購入した)ものでございます ので本願お許し後は速やかに当教会の基本財産として	天 天 理 教	所有権の移転登記することをお請けいたします	立教 年 月 日	役員 ○ ○ ○ ○ 印	役員 ○ ○ ○ ○ 印	天理教 ○ ○ 分教会長	天理教 (直属) 教会長	(※直属教会長自筆) 職印	真柱 中山善司 殿
---------	----------------------	------	-----------------	------	----------------------	-----------------	---	---------	-----------------------	----------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	-----------

請書 (例2)	所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番地参	一、土地	○○ ○○○、○○平方メートル	一、建物	○○造○○葺 平家建 神殿・教職舎 壱棟	床面積 ○○、○○平方メートル	右土地建物は別紙返還誓約書の通り当教会の基本財 産に相違なく、(事由が解消次第)速やかに当教会の 基本財産として所有権の移転登記することをお請けい たします	天 天 理 教	たします	立教 年 月 日	役員 ○ ○ ○ ○ 印	役員 ○ ○ ○ ○ 印	天理教 ○ ○ 分教会長	天理教 (直属) 教会長	(※直属教会長自筆) 職印	真柱 中山善司 殿
---------	----------------------	------	-----------------	------	----------------------	-----------------	---	---------	------	----------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	-----------

請書 (例3)	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番地参	
一、建物	
○○造○○葺 貳階建 神殿・教職舎 壱棟	
床面積 壱階 ○○、○○平方メートル	
貳階 ○○、○○平方メートル	
右建物はこの度よふべく信者の喜納金によつて建築する建物でございますので本願お許し後、建物竣工後は直ちに表題登記並びに当教会の基本財産として所有権の保存登記する事をお願いいたします	
天	天理教
立教 年 月 日	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
天理教 ○ ○ 分教会長	
○ ○ ○ ○ 職印	
天理教 (直属) 教会長	
(※直属教会長自筆) 職印	
真柱 中山善司 殿	

請書 (例4)	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番地参	
一、建物	
○○造○○葺 貳階建 神殿・教職舎 壱棟	
床面積 壱階 ○○、○○平方メートル	
貳階 ○○、○○平方メートル	
右建物は立教 年 月 日付にて (願 名)	
のお許しを戴き現在建築中の建物でございますので本願お許し後建物竣工の上は速やかに表題登記並びに当教会の基本財産として所有権の保存登記することをお願いいたします	
天	天理教
立教 年 月 日	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
天理教 ○ ○ 分教会長	
○ ○ ○ ○ 職印	
天理教 (直属) 教会長	
(※直属教会長自筆) 職印	
真柱 中山善司 殿	

請書 (例5)	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番地参	
一、建物	
○○造○○葺 貳階建 神殿・教職舎 壱棟	
床面積 壱階 ○○、○○平方メートル	
貳階 ○○、○○平方メートル	
右建物は立教 年 月 日付にて(願名)	
のお許しを戴き建築した建物でございますが事務不馴 れな為未だ登記手続きをいたしておりませんので本願 お許し後は速やかに表題登記並びに当教会の基本財産	
天	天理教
として所有権の保存登記することをお請けいたします 立教 年 月 日	
役員 ○○ ○○ 印	
役員 ○○ ○○ 印	
天理教 ○○ 分教会長	
○ ○ ○ ○ 職印	
天理教(直属)教会長	
(※直属教会長自筆) 職印	
真柱 中山善司 殿	

請書 (例6)	
所在地 ○○県○○市○○町壱丁目貳番地参	
一、建物	
○○造○○葺 貳階建 神殿・教職舎 壱棟	
床面積 壱階 ○○、○○平方メートル	
貳階 ○○、○○平方メートル	
右建物は立教 年 月 日付にて(願名)	
のお許しを戴き建築した建物でございますが事務不馴 れな為未だ表題登記までしかできておりませんので本 願お許し後は速やかに当教会の基本財産として所有権	
天	天理教
の保存登記することをお請けいたします 立教 年 月 日	
役員 ○○ ○○ 印	
役員 ○○ ○○ 印	
天理教 ○○ 分教会長	
○ ○ ○ ○ 職印	
天理教(直属)教会長	
(※直属教会長自筆) 職印	
真柱 中山善司 殿	

請書 (例7)	
所在地 ○○県○○市○○町○○丁目○番地参	
一、建物	
○○造○○葺 式階建 神殿・教職舎 壹棟	
床面積 壹階 ○○、○○平方メートル	
式階 ○○、○○平方メートル	
右建物はこの度よふべく信者の喜納金によつて建築する建物でございますが当教会は非法人教会であり名義上○○大教会の基本財産として登記いたし○○分教会のたすけ一条の御用の上に使用して頂くことをお請	
天	天理教
けいたします	
立教 年 月 日	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
役員 ○ ○ ○ ○ 印	
天理教 ○ ○ 分教会長	
○ ○ ○ ○ 職印	
天理教 (直属) 教会長	
(※直属教会長自筆) 職印	
真柱 中山善司 殿	

[例 1]

令和 年 月 日

天理教〇〇分教会殿

住所_____

宗教法人「天理教△△大教会」

代表役員_____法人印

土地及び建物使用承諾書

下記物件を天理教〇〇分教会が境内地・境内建物として専ら天理教本来の用に供するため、無償にて貸与し使用することを承諾します。

記

物件の表示

所在地番

土地

建物

[例 2]

令和 年 月 日

天理教〇〇分教会殿

住所_____

氏名_____印

土地及び建物使用承諾書

下記物件を天理教〇〇分教会が境内地・境内建物として専ら天理教本来の用に供するため、無償にて貸与し使用することを承諾します。

記

物件の表示

所在地番

土地

建物

[例]

令和 年 月 日

天理教〇〇分教会殿

住所_____

氏名_____印

寄付証書

このたび私儀の所有物件である下記物件を天理教〇〇分教会の基本財産として、寄付いたします。

記

物件の表示

所在地番

土地

建物

[例 1]

令和 年 月 日

天理教〇〇分教会殿

住所_____

氏名_____印

返還誓約書

下記の土地建物は令和 年 月 日売買によって天理教〇〇分教会が飛地境内地及び飛地境内建物として購入したものでありますが購入費借入の便宜上、会長である<氏 名>の個人名義にいたします。しかし土地建物購入費は全額信者の喜納金による支出負担で本来その所有権は天理教〇〇分教会にありますので借入金の返済が終わり土地建物の抵当解除がなされた上は速やかに天理教〇〇分教会に真正なる所有名義回復登記ができるよう返還することを誓約いたします。

記

物件の表示

所在地番

土地

建物

登記名義人

(住所)

(氏名)

[例 2]

令和 年 月 日

天理教〇〇分教会殿

住所_____

氏名_____印

返還誓約書

下記の土地建物は令和 年 月 日売買によって天理教〇〇分教会が飛地境内地及び飛地境内建物として購入したものです。天理教〇〇分教会は非法人教会でありますので便宜上、会長である<氏名>の個人名義にいたします。しかし土地建物購入費は全額信者の喜納金による支出負担で本来その所有権は天理教〇〇分教会にありますので法人教会設立の上は速やかに天理教〇〇分教会名義に真正なる所有名義回復登記ができるよう返還することを誓約いたします。

記

物件の表示

所在地番

土地

建物

登記名義人

(住所)

(氏名)

[例 3]

令和 年 月 日

天理教〇〇分教会殿

住所_____

氏名_____印

返還誓約書

下記の建物は令和 年 月 日天理教〇〇分教会が境内建物として建築したものです。建築費借入の便宜上、会長である〈氏 名〉の個人名義にいたします。しかし前述の通り建物建築費は全額信者の喜納金による支出負担で本来その所有権は天理教〇〇分教会にあり借入金の返済が終わり建物の抵当解除がなされた上は速やかに天理教〇〇分教会に真正なる所有名義回復登記ができるよう返還することを誓約いたします。

記

物件の表示

所在地番

建物

登記名義人

(住所)

(氏名)

(二) 教会に関する届書式

- ・ 所定の書式を用い、署名は黒ペン又はボールペンにて自筆すること。

一、代務者解任届

- ・ 代務者のお許しを戴いた事由が解消したときは「代務者解任届」を系統領宛に提出する。(例・教会長の出直し或いは後任教会長の任命等)
- ・ 教区の経由印が必要。
- ・ 理由は、別紙理由書を添付してもよい。
- ・ 任命と同時に届け出る場合は後任教会長として自署押印(実印)。

二、建築届

- ・ おはこびの対象とならない修築や内部改造、屋根葺替などをする場合は、事前に「修築届」「内部改造届」「屋根葺替届」を教務部長宛に提出する。
- ・ 教区長の具申書、経由印は不要。

三、霊祭日届

- ・ 月次祭の日を避けること
- ・ 教区長の具申書、経由印は不要。

四、霊祭日変更届

- ・ 月次祭の日を避けること。
- ・ 教区長の具申書、経由印は不要。

五、霊祭日臨時変更届

- ・ 月次祭の日を避けること。
- ・ 教区長の具申書、経由印は不要。
- ・ 年が変わる場合は「立教 年 年」に限り 月 日」とする

六、教会所属変更届

- ・ 本届は同一直属内に於いて所属変更する場合の書式である。

- ・教区長の具申書、経由印は不要。
- ・移転願を伴う場合は、移転先の所在地で届け出る。
- ・改称願を伴う場合は、改称名で願い出て、当該教会長押印は実印を用いる。
- ・理由書は具体的に詳記すること。

七、教会「地名変更」並「住居表示」届

- ・教区の経由印が必要。

天理教表統領

殿

立教 年 月 日

所在地

天理教

分教会

代務者解任届

当教会長 は 年 月 日教丙代第 号
を以て を代務者に御任命戴いておりましたが

(理由) _____ により

年 月 日解任いたしましたのでお届けいたします

役員

実印

役員

実印

天理教

分教会長代務者

実印

(当 該) 天理教

分教会長
分教会後任教会長

印

(直 属) 天理教

教会長

職印

※任命と同時に届け出る場合は「後任教会長」として実印を捺す

教務部長 殿

立教 年 月 日

所在地

天理教

分教会

届

・ _____する建物

・ 工事内容

・ 着工予定日 年 月 日

・ 竣工予定日 年 月 日

尚、御目標様には、不敬のないよう工事を進めさせていただきます

(当 該) 天理教

分教会長

職印

(直 属) 天理教

大教会長

職印

天理教表統領

殿

立教 年 月 日

所在地

天理教

分教会

霊祭日届

春季霊祭 3 月 日

秋季霊祭 9 月 日

上記のように定めたくお届け申し上げます

（当 該） 天理教

教会長

職印

（直 属） 天理教

教会長

職印

天理教表統領

殿

立教 年 月 日

所在地

天理教

分教会

霊祭日変更届

春季霊祭 3月 日 → 3月 日

秋季霊祭 9月 日 → 9月 日

上記の通り変更いたしたくお届け申し上げます

(当該) 天理教

教会長

職印

(直属) 天理教

教会長

職印

天理教表統領

殿

立教 年 月 日

所在地

天理教

分教会

霊祭日臨時変更届

霊祭 月 日

本年に限り 月 日

上記の通り変更いたしたくお届け申し上げます

(当該) 天理教

教会長

職印

(直属) 天理教

教会長

職印

立教 年 月 日

天理教表統領

殿

所在地

天理教

分教会

教会所属変更届

旧所属教会 天理教 分教会

新所属教会 天理教 分教会

当教会は別紙理由により上記の通り所属を変更いたしましたので
関係教会長連署の上お届け申し上げます

役員

実印

役員

実印

(当 該) 天理教

教会長

職印

(旧 所 属) 天理教

教会長

職印

(新 所 属) 天理教

教会長

職印

(直 属) 天理教

教会長

職印

理 由 書

七、教会「地名変更」並「住居表示」届

・本届は市町村合併、区画整理等の理由により、教会の所在する地名が変更する場合、又新しい地番に変更する場合の書式である。

・所定の用紙に、黒のペン又はボールペンを用い、楷書で丁寧に記入すること。（水性ボールペン、サインペン、マジックインクは不可）

- ① 該当する番号に○印を付ける。
- ② 教会台帳通りに明記のこと。
- ③ 添付書類通りに明記のこと。
- ④ 住居表示の実施の場合は記入不要。
- ⑤ 書類は必要に応じて添付のこと。但し非法人の場合は謄本不要。

・地名変更の場合の添付書類

市制施行等による変更は、市区町村の証明書を添付。

但し、地番にかかる変更がある場合は、法人登記簿謄本を添付。

又、字名（大字、字、小字）にかかる変更がある場合は、証明書の内容によっては、法人登記簿謄本を必要とすることがあるので、事前に教務課へ問い合わせのこと。

・住居表示実施の場合の添付書類

法人登記簿謄本を添付。但し、法人登記簿謄本に住居表示実施前の地名が記載されていない場合は、謄本とともに市区町村長の証明書を添付。

註 地番にかかる変更の場合は、法人事務所の変更登記を行わなければならない。又字名にかかる変更の場合も変更登記を必要とすることがある。（法務局に確認のこと）

教会「地名変更」並「住居表示」届

天理教表統領

殿

天理教

分教会

下記のとおり変更となりましたのでお届けいたします。

立教 年 月 日

(当該) 天理教

分教会長

印

(直属) 天理教

大分 教会長

印

①	表 題	1、地名変更	2、住居表示の実施
②	旧 住 所		
③	新 住 所		
④	理 由	※地名変更の場合のみ記入して下さい。	
⑤	添付書類	1、証明書	2、法人登記簿謄本
		※添付する書類に○をつけてください。	

添付書類について

- ・地名変更の場合、市区町村の証明書を添付。但し、地番、字名（大字、字、小字）にかかる変更は教務課へ問い合わせのこと。
- ・住居表示の実施の場合、法人登記簿謄本を添付。但し、法人登記簿謄本に住居表示実施前の地名が記載されていない場合は、市区町村長の証明書も添付。

(三) 教人に関する諸願書・届書式

- ・教務課所定の用紙（コピーも可）に黒ペン又はボールペンを用い、楷書で丁寧に記入すること。

一、教人登録願

(1) 本願

- ・教人資格講習会修了時と教人登録を願ひ出る際の系統（直属）が変わった場合は、事前に「よふぼく所属変更報告」を教務課へ提出すること。

- ・自署押印。尚、願人が外国籍の場合はサインも可とする。
- ・現住所・氏名・生年月日は住民票の写し又は住民票記載事項証明書通りであること。

- ・本籍地は都道府県を記入する。尚、願人が外国籍の場合は国名を記入する。

- ・履歴事項には必ず日付を明記する。

(2) 住民票の写し又は住民票記載事項証明書

- ・住民票の写し又は住民票記載事項証明書は、交付日から六カ月以内のもの。（コピーは不可）尚、願人が外国籍の場合は、パスポート又は外国人登録証明書の写しを添付すること。

二、教人所属変更願・届

- ・所属変更及びそれに伴う転籍・転住・改姓の用紙である
- ・他系統へ所属変更する場合は「願」とし、同系統の場合は「届」とする。

- ・「願」の場合には新旧所属教会長及び新旧直属教会長が、「届」の場合には新旧所属教会長及び直属教会長（新直属教会長の欄に）各々自署押印。

三、教人の変更・出直・訂正届（表紙）

- ・教人の変更・出直・訂正届に添付する表紙である。
- ・届け出が一名であっても必ず表紙を付けること。

四、教人の変更・出直・訂正届

- ・転籍・転住・改姓・出直・訂正の用紙である。
- ・本届は複数名を連記し、届け出ることができる。
- ・必ず表紙を付けて届け出ること。

註 所属変更を伴う場合は別用紙（所属変更願・届）で願ひ（届け）出ること。

- ・教会長・代務者が改姓・改名した場合は、旧姓・旧名も記載された戸籍抄本を添付すること。（市町村役場での申請時に旧姓・旧名も記載されたものを申請する）
- ・教会長・代務者以外の教人が改名を伴う場合は、住民票の写し又は住民票記載事項証明書を添付すること。

五、教人出直届（任命願書添付用）

- ・任命を伴わない場合は、別用紙「教人の変更・出直・訂正届」で届け出ること。
- ・氏名・生年月日・住所は教会台帳記載通りに明記する。

六、教人登録証明書下附願

- ・自署押印。
- ・証明書の使用目的を明記する。
- ・本籍・現住所・氏名・フリガナ・生年月日・教人登録日・登録番号は、本部教人台帳通りに明記する。

教人登録願

天理教表統領

殿

よふぼくの務めを尽くしたすけ一条の御用につとめさせていただきますので
教人に登録下さるようお願い申し上げます。

立教 年 月 日

(願人)

印

(所属)

天理教

教会長

印

(直 属)

天理教

教会長

印

本 籍					
現 住 所					
ふ り が な					性 別
氏 名					男 ・ 女
生 年 月 日	昭 令 平 西	年	月	日	
おさづけの理拝戴	昭 令 平 立	年	月	日	
最 終 学 歴	昭 令 平 立	年	月	日	学校 卒 業 中 退
修 養 科 修 了 (またはそれと同じ資格取得)	昭 令 平 立	年	月	日 (	)
教人資格講習会修了 (またはそれと同じ資格取得)	立 教	年	月	日 (	)
教 人 登 録	※ 号				
備 考					

教人所属変更 願・届

天理教表統領

殿

下記の者 関係教会長連署の上お 願ひ 届け いたしたい いたしました ので
のため以下の通り変更 いたします。

立教 年 月 日

(旧所属)
天理教 教会長 印

(旧直属)
天理教 教会長 印

(新所属)
天理教 教会長 印

(新直属)
天理教 教会長 印

所 属 教 会			
本 籍			
現 住 所	〒 ー		
フリガナ		性 別	
氏 名		男 ・ 女	
生 年 月 日	明・大・昭・平・西暦	年	月 日生
新所属教会		連 絡	
新 本 籍		可 ・ 不可	
新 住 所	〒 ー (Tel ー ー)		
フリガナ			
新 氏 名			

- * 他系統の場合は願とすること。本文は「変更いたしたいので …… お願いいたします」とする。
- * 同系統の場合は届とすること。本文は「変更いたしましたので …… お届けいたします」とする。
- * 転籍・転住・改姓を伴う場合にはその変更事項を併記のこと。

教人の変更・出直・訂正届

天理教表統領

殿

別紙 _____ 枚

_____ 名、お届けいたします。

立教 年 月 日

(直 属)
天理教

教会長

職
印

教人の変更・出直・訂正届

P. _____ / _____

[転籍・転住・改姓・出直] [訂正 (本籍・住所・氏名・生年月日・性別・その他)]

No. _____

所属教会		出 直 年 月 日	昭・平・令 西暦・立教	年 月 日
フリガナ		本 籍		
氏 名				
生年月日	大・昭・平・令・西暦 年 月 日生	性 別	男 ・ 女	
住 所	〒 ー (Tel ー ー)			
フリガナ		新本籍		
新 氏 名				
新 住 所	〒 ー (Tel ー ー)			
そ の 他 の 訂 正	訂正事項 (旧) ⇒ (新)			

[転籍・転住・改姓・出直] [訂正 (本籍・住所・氏名・生年月日・性別・その他)]

No. _____

所属教会		出 直 年 月 日	昭・平・令 西暦・立教	年 月 日
フリガナ		本 籍		
氏 名				
生年月日	大・昭・平・令・西暦 年 月 日生	性 別	男 ・ 女	
住 所	〒 ー (Tel ー ー)			
フリガナ		新本籍		
新 氏 名				
新 住 所	〒 ー (Tel ー ー)			
そ の 他 の 訂 正	訂正事項 (旧) ⇒ (新)			

*所属変更を伴う場合には「教人所属変更 願・届」の書式をもって別に提出のこと。

教 人 出 直 屈

天理教表統領

殿

下記の者、出直しましたのでお届けいたします。

立教 年 月 日

(直 属)

天理教

教会長



所 属 教 会			
フリガナ		性 別	
氏 名		男 ・ 女	
生 年 月 日	明・大・昭・平・西暦	年	月 日生
本 籍			
住 所	〒 ー		
出直年月日	立教	年	月 日

教人登録証明書下附願

天理教表統領

殿

(本人)

印

上の者、下記理由により教人登録証明書御下附下さいます様お願いいたします。

立教 年 月 日

(所属)

天理教

教会長

印

(直属)

天理教

教会長

印

理由

教人登録事項		
本籍		
現住所		
フリガナ		性別
氏名		男・女
生年月日	大・昭・平・西暦 年 月 日生	
教人登録日(番号)	年 月 日(第 号)	

(四) 布教所届書式

- ・教務課所定の用紙（コピーも可）に黒ペン又はボールペンを用い、楷書で丁寧に記入すること。
 - ・布教所長はよぶべくでなければならない。
 - ・海外の場合は、直属教会から海外部を経由し教務課へ届け出る
- こと。

一、布教所開設届

- ・整理番号は、左に直属教会番号を、右に布教所番号（直属教会で定める番号）を記入すること。
- ・表統領へ届け出る年月日が布教所開設年月日となる。

二、布教所変更届

- ・整理番号は、左に直属教会番号を、右に布教所番号（本部届出の番号）を記入すること。
- ・所属変更する場合は、新旧所属教会長共に自署押印する。
- ・表統領へ届け出る年月日が布教所変更年月日となる。
- ・解散の場合は、「布教所解散」を○で囲むこと。

布教所開設届

整 理 番 号	

天理教表統領

殿

布教所開設の件、承認いたしましたのでお届け申し上げます。

立教 年 月 日

(所属)
天理教

教会長



(直属)
天理教

教会長



ふ り が な			
布 教 所 名			
ふ り が な			
布 教 所 長 名	⑩		
生 年 月 日	年 月 日生	性 別	
		男 ・ 女	
おさづけの理拝戴	年 月 日拝戴	教 歴	
		よふぼく・教人	
住 所	〒 ー () 支部		
電 話 番 号	ー ー	祭 典 日	
		・ 毎月 日	
		・ 決めていない	
同 居 家 族	人	道専務 人 / 職業兼務 人 / 職業専務 人 / その他 人	
幹 事 の 氏 名			
布 教 所 開 設 に 至 る 経 緯			
届 出 時 の 教 勢	よふぼく 人(内教人 人) / 信者 人		

布 教 所 変 更 届

整 理 番 号

天理教表統領

殿

布教所変更届を受理いたしましたのでお届け申し上げます。

立教 年 月 日

(旧所属)

天理教

教会長



(新・現所属)

天理教

教会長



(直属)

天理教

教会長



ふ り が な			
布 教 所 名			
ふ り が な		性 別	
布 教 所 長 名		男 ・ 女	
住 所	〒 一 (TEL - -) () 支部		
変 更 の 理 由	※解散の場合、「布教所解散」を○で囲む		祭 典 日
布 教 所 解 散			・ 毎月 日 ・ 決めていない
新 所 属 教 会 名			
ふ り が な			
新 布 教 所 名			
ふ り が な		性 別	
新 布 教 所 長 名		男 ・ 女	
生 年 月 日	年 月 日生		教 歴
			ようぼく・教人
移転による所在地 変 更 ま た は 地名・表示変更	〒 一 (TEL - -) () 支部		

〔修了資格一覧表〕

修養科修了資格	・ 修養科修了者 ・ 海外修養会・修講院修了者 ・ 天理大学卒業者（但し平成 15 年度以前に入学した者に限る） ・ 管内高校卒業者（天理高校 1 部・2 部 附属高校 親里高校 天理教校学園高校） ・ 三日講習会修了者
教人資格講習会修了資格	・ 教人資格講習会修了者 ・ 教会長資格検定講習会前期修了者 ・ 天理大学伝道課程修了者 ・ 天理高校用木コース修了者（但し平成 15 年度以前に入学した者に限る） ・ 天理教校専修科卒業者 ・ 天理教校第二専修科前期（2 カ年）修了者 ・ 天理教校本科（研究課程・実践課程）1 年次修了者 ・ 昭和 63 年 3 月以前の教会長資格検定講習会修了者で検定合格していない者
教会長資格検定講習会修了資格	・ 平成 23 年 2 月以降の教会長資格検定講習会修了者 ・ 教会長資格検定講習会後期修了者 ・ 天理教校第二専修科卒業者 ・ 天理教校本科（研究課程・実践課程）卒業者

・ 修了、卒業年代によって資格も異なり、教人登録書式も異なる。

(五) 別席取扱いについて

(1) 受付時間

☆別席の誓い

午前八時より午後三時まで。(祭典日は別席受付時間に準ずる)

「別席の誓い」に引き続き初席を運ぶ場合には、別席受付時間内に

「別席の誓い」を済ませられるよう早めに受付をすること。

☆別 席

【午前席】八時～九時三十分まで

【午後席】正午～一時三十分まで

○別席の受付時間に遅れた場合、別席は運べない。

※但し、祭典日の受付時間は左記の通り。

▼春季大祭（二月二十六日）

〔午前席〕八時～九時三十分まで

〔午後席〕ございません

▼教祖誕生祭（四月十八日）

〔午前席〕ございません

〔午後席〕二時～三時まで

▼秋季大祭（十月二十六日）

〔午前席〕ございません

〔午後席〕正午～一時まで

▼月次祭（一月、十月を除く毎月二十六日）

〔午前席〕ございません

〔午後席〕一時～二時まで

(2) 別席及び別席の誓いの休日

十二月二十八日より一月一日まで

(3) 祭典日のおさづけの理拝戴について

毎月二十六日（一月を除く）及び四月十八日の午前席は休みであるが、既に九席を済ませ、おさづけの理拝戴を願う人に限り左記の時間に受付をする。

毎月二十六日（一月を除く）

正午より一時まで

一月二十六日

午前八時より九時三十分まで

四月十八日

午前八時より九時三十分まで

祭典終了後より二時まで

但し、二十六日及び四月十八日の午後席で満席になる人は、おさ

づけの理拝戴を願い出ることができない。

(註) 朝夕のおつとめの手振りを充分練習しておくこと。

(4) 諸 願 書

◎諸願書は必ず楷書で墨書し直属教会長の捺印を要する。

イ、別席願及び席札

- ・「別席の誓い」をするに当たっては、所定の「別席願」、「席札」に「幣帛料」を添え、別席願受付に提出すること。

- ・住所は都道府県名を必ず記入し、番地、何々方、〇〇アパート何号室等まで現住所を詳細に書くこと。

- ・別席の運び方については、「別席運び方席数表」を参照のこと。

ロ、おさづけの理拝戴願

- ・おさづけの理拝戴を願い出る人は、所定の「おさづけの理拝戴願」、「席札」に、「幣帛料」を添え、受付時間内に別席受付に提出すること。

- ・住所は必ず現住所で、氏名、生年月日等を確認のこと。

ハ、傍 聴

- ・既におさづけの理を拝戴した人及び既に九席目を済ませた人が、身上者の付き添いにより傍聴する場合、所定の「傍聴願」に、「幣帛料」を添え、受付へ申し出れば傍聴することができる。(事前に受

付へ確認のこと)

尚、「傍聴願」は毎席必要とする。

二、変 更 ・ 訂 正

- ・別席運び中に直属教会が変わった場合は、理由を明記し、新旧直属教会長、及び新旧所属教会長の署名捺印した「所属変更願」(天理教赤罫紙で墨書)に、貼り紙訂正した席札を添えて受付に申し出ること。

- ・席札の住所、氏名が変わる時、又は誤記のある場合は、新旧又は正誤とその理由を書いた所定の「変更・訂正届」に貼り紙訂正した席札を添えて受付に提出すること。

- ・変更訂正未届のまま満席になった人は(おさづけの理拝戴を願い出る時点で、席札の住所、氏名に変更のある場合)「おさづけの理拝戴願」に新旧住所、氏名を記入の上、貼り紙訂正した席札を添えて受付に提出すること。

別席運び方について

- 1 別席は満十七歳になる月から運べる。
- 2 別席を運ぶ人は先ず「別席の誓い」をしなければならない。
- 3 別席は月に一席、九カ月運んで九席(満席)を原則とする。

- 「別席運び方席数表」は別席者の現住所によって月に運ぶことのできる席数をそれぞれ定めたものであり、定められた席数まで運ぶことができる。
- 月のかわり目に運ぶ場合、定められた席数内であれば、月をまたいで続けて運ぶことができる。
- 4 運んだ席数だけ月を経なければ次の席が運べない。
- 例えば、三月に三席運んだ場合、四月、五月を空けて六月以降でないと運ぶことができない。
- 5 九席目は初席から九カ月目以降でなければ運べない。
- 4, 5について海外はその限りでない（「別席運び方席数表」参照）
- 6 席札を紛失した場合は、運び直しとなる。

別 席 運 び 方 席 数 表		
一	席	大阪府全域、奈良県 京都府 三重県 兵庫県 滋賀県 和歌山県の内、下記の地域を除く全域
二	奈良県	内、上北山村、下北山村、十津川村
	京都府	内、舞鶴市、宮津市、福知山市、綾部市、京丹後市、南丹市、与謝郡、船井郡
	三重県	内、尾鷲市、熊野市、志摩市、度会郡、北牟婁郡、南牟婁郡
	兵庫県	内、洲本市、豊岡市、たつの市、赤穂市、西脇市、相生市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、宍粟市、淡路市、神崎郡、揖保郡、赤穂郡、佐用郡、美方郡、多可郡、家島諸島（姫路市家島町）
	滋賀県	内、長浜市、高島市、米原市
	和歌山県	内、新宮市、田辺市、御坊市、日高郡、西牟婁郡、東牟婁郡
二	席	岐阜県、愛知県、福井県、岡山県、香川県、徳島県
三	席	埼玉県、神奈川県、山梨県、富山県、長野県、静岡県、石川県、鳥取県、広島県、山口県、高知県、愛媛県、東京都 内、伊豆諸島（大島―大島町、利島町、新島村、神津島村、三宅島―三宅村、御蔵島村、八丈島―八丈町、青ヶ島村）、小笠原諸島（小笠原村）は五席 島根県 内、隠岐群島（隠岐郡）は五席
五	席	北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県、群馬県、栃木県、茨城県、千葉県、新潟県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、長崎県、鹿児島県、沖縄県
海	外	初席から続けて九席まで運ぶことができる。但し、必ず一日、中休みをすること。

(六) おまもり、をびや許し、御供下附について

◎ 受 付

毎日朝つとめ後から夕つとめ迄の間に、願書（直属教会又は信者詰所で世話取り）を持って教祖殿御守所に願ひ出ること。

(1) おまもり

おぢばへ帰つて本人が直接願ひ出ること。

十五歳未満の子供のおまもりは、両親又は親に該当する者（祖父母、兄弟、教会長、布教所長）が付き添ふこと。本人不参の際は、両親であれば代つて戴くことが出来る。

(2) をびや許し

をびや許しは妊娠六カ月目から戴ける。妊婦の代理は、夫、嫁ぎ先の親、実家の親に限る。

(3) 御 供（ごく）

教会への下附は、直属教会から願書を持って教祖殿御守所に願ひ出るいつ。

(七) 礼遇報告書

註

玉 串 料

立 場	金 額
直属教会長 ・ 教区長 ・ 本部詰員 ・ 集会員 (前 ・ 元を含む)	一〇 〇〇〇円
右記の配偶者	一〇 〇〇〇円
一般教会長 (前 ・ 元を含む)	一〇 〇〇〇円
右記の配偶者	一〇 〇〇〇円
特に功労のあつた布教所長及び教人	一〇 〇〇〇円

(立教百八十四年一月一日改訂)

- ・ 教務課所定の用紙(コピー可)を使用のこと。
- ・ 修養科一期講師の経歴は、本部詰員対象外とする。
- ・ 複数の教区にそれぞれ礼遇対象者としての立場がある場合は、葬儀が営まれる場所を管轄する教区がその礼遇を行う。(複数教区で重複の無いように注意のこと)
- ・ 報告書の締め切りは毎月十四日(郵送必着)とし、その報告書に基づき当月二十五日以降に玉串料を交付する。
- ・ 役職の欄には、本部、大教会、教区、支部などでの役職名を記す。
- ・ 本部在籍者の礼遇は、直接本部が行う。(本部と教区で重複の無いように注意のこと)

受 理 印										
	礼 遇 報 告 書 (毎月14日までの報告につき25日以降に交付します)									
(ふりがな)						出直日	立教 年 月 日			
故 人 氏 名						性 別		享 年	才	
住 所										
直 属			所 属	分教会			布教所			
立 場 (該当に○)	(1) 直属教会長(配偶者・元・現)					(2) 本部詰員(配偶者・元・現)				
	(3) 教区長(配偶者・元・現)					(4) 集会員(配偶者・元・現)				
	(5) 一般教会長(配偶者・元・現)					(6) 布教所長(元・現)		(7) 教人		
役 職	(本部・大教会・教区・支部などでの役職名)									
礼 遇	玉串料 万円				葬 祭 日	立教 年 月 日				
	表統領 の弔辞	有	代読者の立場・氏名							
		無	参列者の立場・氏名							

このたび上記の通り礼遇の取り扱いを致しましたので御報告申し上げます。

立教 年 月 日

表統領

殿

教区

教区長

印

弔 辞（例の一）

（教会長、前教会長、布教所長）

天理教〇〇分教会（布教所）長何某氏（姉）が出直されましたことは洵に哀悼に耐えません 貴方は親神様のお手引きにより、早くから道のよふぼくとなられ、常に教祖のひながたを目標に人々を導きたすけ、道の先達として仰ぎ慕われると共に教会（布教所）長として日夜たすけ一条に邁進され、御生涯を道に捧げて、世界たすけの道の伸展に寄与せられた御功績は、誠に尊いものがあります

茲に御生前の功を讃えて、深くその労をお犒い申します

立教 年 月 日

天理教表統領 氏 名

弔 辞（例の二）

（功績顕著であつた教人）

（立場）何某氏（姉）が出直されましたことは洵に哀悼に耐えませんが

貴方は、早くから道の教えを聞き分けてよふぼくとなられ、常に教祖のひながたを心に湛え、土地所の成程の人となられたばかりでなく、日々にをいがけ、おたすけに努め、数多の教え子を導き育てて道の上に尽くされた御功績は顕著なものがあります

茲に御生前の功を謝し、その労をお犒い申します

立教 年 月 日

天理教表統領 氏 名

(ハ) 災害対策関係

教務支庁は、災害が発生したときは、次のことに留意し、速やかに対処すること。

- (1) 教区災害対策委員会の召集
- (2) 被災詳細の収集
(常に情報収集につとめる)
- (3) 本部（災害対策委員会）への報告、連絡、相談
- (4) 災害の程度によっては、左のことに留意すること
 - ◇ 委員の業務分担、調査員及び慰問使の派遣
 - ◇ 救援並びに救援活動の立案、必要に応じて災害救援ひのきしん隊派遣の相談
 - ◇ 最寄りの教会、布教所をもって、罹災者の応急処置等に応じる諸準備
 - (必要に応じて、公共施設、信者宅等を借用)
 - ◇ 物資、あるいは資金調達の立案

教会（布教所）罹災報告様式

立教 年 月 日

教区長（氏名）

天理教表統領室長

殿

教会（布教所）罹災報告の件

首題の件 年 月 日

のため罹災致しましたので左記

の通り御報告申し上げます

記〔※①〕

一、罹災教会名（直属教会名）

二、所在地

三、教会長氏名

四、御目標の安否

五、罹災時の状況

六、人員死傷の有無

七、建物の状況

〔例〕総建物 ○棟

総床面積 ○○○平方米の内、木造瓦葺平家建、倉庫一棟 ○○○

平方米、全焼

右所有者（借家の場合は、その旨記入）

八、備品、家具等の被害程度

九、罹災後の処置及び今後の対策〔※②〕

十、教区としての処置及び対策〔※③〕

※① 災害が大きく、複数の教会（布教所）が罹災した場合は、一覧表にして報告すること

※② 当該教会の立場から記載すること

※③ 罹災の級種別区分、及び見舞金の額（災害見舞金交付額基準）、あるいは救援活動をした場合の報告等について記載すること

◆ 火災等による場合（主として失火、類焼）、当該教会から始末書、及び御詫書を直属教会長連署の上、真柱室（真柱宛）に提出して頂くことを確認する。

災害見舞金交付額基準

級 種 別 区 分			教 会		布 教 所	
A	全焼・全壊・全流失・倒壊と認められるもの	一〇〇 〇〇〇円	〇〇〇円	三〇 〇〇〇円	二〇 〇〇〇円	一〇 〇〇〇円
B	半焼・半壊・半流失と認められるもの	五〇 〇〇〇円	〇〇〇円	二〇 〇〇〇円	一〇 〇〇〇円	五〇 〇〇〇円
C	B級以下の被害で、お見舞の必要を認めたもの	三〇 〇〇〇円	〇〇〇円	一〇 〇〇〇円	五〇 〇〇〇円	三〇 〇〇〇円

（平成九年四月一日改訂）

◇所有家屋、借家による見舞金の区別はしない

◇見舞金の交付は、「天理教教会本部」の名ですること

◇直属教会の場合は、本部で別に考慮する

立教 186 年 8 月 25 日 発行
(非売品)
編集・発行人
〒632-8501
奈良県天理市三島町 1 番地 1
天理教教務部教務課